

つ つなげよう未来へ！
し 市民協働による
ま まちづくり



平成26年度

組織目標の成果

～ 「協働型市政の確立」を目指して～



長崎県対馬市

… アジアに発信する歴史海道都市 対馬 …

～ 目 次 ～

I	組織目標の評価一覧	・・・・・・・・	1
II	組織目標の成果（個票）	・・・・・・・・	5
1	しまづくり戦略本部	・・・・・・・・	5
2	総務部	・・・・・・・・	11
3	総合政策部	・・・・・・・・	14
4	市民生活部	・・・・・・・・	25
5	福祉部	・・・・・・・・	32
6	保健部	・・・・・・・・	36
7	農林水産部	・・・・・・・・	39
8	建設部	・・・・・・・・	48
9	水道局（部）	・・・・・・・・	50
10	中対馬振興部	・・・・・・・・	51
11	上対馬振興部	・・・・・・・・	56
12	消防本部	・・・・・・・・	63
13	教育委員会事務局	・・・・・・・・	66

平成26年度 対馬市組織目標の評価一覧

部署	コード		目 標	評 価	
	全体	個別			
しまじくろ戦略本部	1	001-01	域学連携による地域づくりを推進します。	○	
	2	001-02	情報連携システムを構築します。	△	
	3	001-03	異業種が連携した産業振興策を検討します。	○	
	4	001-04	5つの循環の構築に向け短期計画を明確にします。	○	
	5	001-05	対馬地域病院（仮称）への交通アクセスを構築します。	○	
	6	001-06	エネルギーに関するマスタープランの策定を進めます。	○	
総務部	7	002-01	市民協働型の行財政システムの確立を目指します。	×	
	8	002-02	健全な財政運営の執行と財政状況のわかりやすい公表に努めます。	△	
	9	002-03	入札・契約の適正化に努めます。	○	
総合政策部	10	003-01	市民協働による第2次対馬市総合計画の策定を進めます。	○	
	11	003-02	水ビジネス事業を推進します。	△	
	12	003-03	地域マネージャー制度事業による地域づくり計画の策定を推進します。	○	
	13	003-04	魅力ある観光情報システムづくりを目指します。	○	
	14	003-05	商業地域を中心としたにぎわいづくりをします。	○	
	15	003-06	国際交流イベントをはじめとした交流人口の拡大を図ります。	×	
	16	003-07	地場産品の更なる消費拡大に取り組みます。	○	
	17	003-08	重点誘致対象分野を絞った企業誘致に取り組みます。	○	
	18	003-09	しまとく通貨のPR及び加盟店への勧誘を推進します。	○	
	19	003-10	福岡における対馬市の認知度向上及び物産の消費拡大を図ります。	△	
	20	003-11	国境を越えた文化交流の充実及び文化財の活用・保護を図ります。	△	
市民生活部	21	004-01	窓口ワンストップ化、親切な窓口づくり、証明書交付事務の適正化と効率化に努めます。	○	
	22	004-02	滞納処分の強化を図ります。	△	
	23	004-03	各主体が連携したリサイクル、ゼロ・エミッションを推進します。	△	
	24	004-04	海岸漂着物等の処理を進め、海山等の自然環境を保全する活動を推進します。	○	
	セ美 ンター 津島 行政サ ービス	25	004-05	窓口サービスの向上に努めます。	○
		26	004-06	税の現年徴収税率の向上に努めます。	◎
		27	004-07	水道料金の収納率向上に努めます。	△

部署	コード		目 標	評 価
	全体	個別		
福祉部	28	005-01	対馬市障害福祉計画の策定を進めます。	○
	29	005-02	高齢者福祉及び障害者福祉サービスの充実に努めます。	○
	30	005-03	子ども・子育て支援事業計画の策定を進めます。	○
	31	005-04	保育料の収納率向上に努めます。	△
保健部	32	006-01	健康つしま21計画の推進に努めます。	○
	33	006-02	慢性腎臓病（CKD）対策事業を実施します。	◎
	34	006-03	市民健診の受診率向上に努めます。	△
農林水産部	35	007-01	対馬椎茸“やる倍”ナバダス計画総合対策支援事業を実施します。	○
	36	007-02	市有林整備の推進による循環型森林資源活用のためのオフセット・クレジット提案事業を実施します。	△
	37	007-03	対馬猪鹿活用促進事業を実施します。	○
	38	007-04	学校給食地場農林水産物導入事業を実施します。	△
	39	007-05	「海洋保護区」の設定を進めます。	△
	40	007-06	「対馬食通祭」を開催します。	○
	41	007-07	魚礁の設置を進めます。	△
	42	007-08	水産物の輸送費補助を実施します。	△
	43	007-09	基盤整備工事の早期発注、早期完成に努めます。	△
建設部	44	008-01	市営住宅使用料の収納計画の策定と未収金の縮小に努めます。	△
	45	008-02	公共工事の早期発注・早期完成に努めます。	○
（水道局）	46	009-01	水道料金の収納率向上に努めます。	△
中対馬振興部	47	010-01	イベントと連携した体験型観光を推進します。	△
	48	010-02	観光地の景観維持活動を行います。	○
	49	010-03	窓口の適正な運営、環境整備に努めます。	○
	50	010-04	税・水道料金の納付促進に努めます。	△
	ス 峰 セ ン タ ー サ ー ビ ス	51	010-05	窓口サービスの充実に努めます。
上対馬振興部	52	011-01	豊かな自然や伝統を活かした体験型・地域密着型観光を推進します。	△
	53	011-02	窓口サービスの適正・迅速化と電話対応の向上に努めます。	○
	54	011-03	公共工事の早期発注・早期完成に努めます。	○

部署	コード		目 標	評 価
	全体	個別		
上対馬振興部 上県行政サービスセンター	55	011-04	窓口及び電話対応の向上に努めます。	○
	56	011-05	地域イベント・ボランティア活動へ参加します。	○
	57	011-06	観光基盤の充実と体験型観光の推進に取り組みます。	○
	58	011-07	庁舎内外の清掃を徹底します。	○
消防本部	59	012-01	地区消防団の統合及び車両の適正配置を推進します。	○
	60	012-02	応急手当の普及啓発活動に取り組みます。	△
	61	012-03	住宅用火災警報器設置促進及び屋外イベント会場等における火災予防の推進に取り組みます。	△
教育委員会事務局	62	013-01	教育施設の充実・整備、有効活用を推進します。	○
	63	013-02	確かな学力・豊かな心を育む教育活動を推進します。	○
	64	013-03	スポーツの振興とスポーツ施設の利用を促進します。	○
	65	013-04	文化財の保護・活用を図ります。	△

■ 集 計 表

項 目		結 果
◎	目標を上回る実績	2
○	目標どおりの実績	37
△	目標を下回る実績	24
×	目標を著しく下回る実績	2
—	評価不能	0
計		65

全体	No. 1
個別	001-01

平成26年度 [しまづくり戦略本部] 目標の成果

課名	新政策推進課
----	--------

No.	項目	域学連携による地域づくりを推進します。
	1. 組織目標	
	<p>【内容】</p> <p>大学と地域が連携し、様々な地域課題の解決に向けた実践的な取り組みを進めたり、地域資源を活用した新たな産業や社会の枠組みを創出するなどし、地場産業や観光産業等の活性化を図るとともに、地域づくりを担う人材の育成も努めます。</p> <p>【指標】</p> <p>①域学連携地域づくり推進計画の策定 ②域学連携地域づくり実行委員会の開催 1回 ③ワーキングホリデー、中・長期インターン学生の受入 40人 ④島おこし実践塾の開催 1回 30名 ⑤対馬に関する学術研究の奨励（補助金の創設） 4件程度 ⑥活動・滞在拠点の検索と整備計画の検討 1箇所</p>	
	2. 実績（成果）	
	<p>①域学連携地域づくり推進計画の策定：平成26年6月 ②域学連携地域づくり実行委員会の開催 委員会：7月30・31日、作業部会：10月19日、11月9日 ③ワーキングホリデー、中・長期インターン学生の受入 ワーキングホリデー 0人、中・長期インターン 10人（のべ374人） フィールド研究 7組 ④島おこし実践塾の開催：平成26年9月1～6日、33名参加（13大学・社会人） ⑤対馬に関する学術研究の奨励（補助金の創設）：補助金交付対象研究7件 ⑥活動・滞在拠点の検索と整備計画の検討 平成27年中に活用可能な施設調査を実施し、施設整備計画を策定する。</p>	
	3. 評価	○
	<p>平成26年6月域学連携地域づくり推進計画を策定、計画に基づき様々な取り組みを実施しました。 学生の受入について、ワーキングホリデーの応募がなく、次年度以降の取り組みについて検討することとした。 実行委員会は1回の開催予定であったが、実行委員会等の意見も踏まえ、域学連携事業の円滑な推進と課題整理を含めて、別に作業部会も開催した。</p>	
	4. 今後の展開	
	<p>ワーキングホリデーへの参加者がいなかったことを踏まえ、学生受入プログラムを再度検討します。 また、受入基盤を整備するために、平成27年中に学生の活動・滞在拠点の整備計画を策定し、平成28年度以降、計画的に施設の整備を行います。 対馬に関する学術研究を奨励するため、補助金制度の見直し（拡充）を行います。</p>	

全体	No. 2
個別	001-02

平成26年度 [しまづくり戦略本部] 目標の成果

課名	新政策推進課
----	--------

No.	項目	情報連携システムを構築します。
	1. 組織目標	
	<p>【内容】</p> <p>市役所内での情報共有及び市民への情報発信についてマニュアルを作成し、職員への説明会を行い周知徹底することで、より見える市政を目指します。</p> <p>【指標】</p> <p>①情報共有・発信に関するマニュアルの作成 ②マニュアルの職員説明会の実施 6回 ③情報連携システム整備に関する検討及び整備 ただし、システム整備の一部は平成27年度にも実施する。</p>	
	2. 実績(成果)	
	<p>①情報共有・発信に関するマニュアルの作成：作成できませんでした。 ②マニュアルの職員説明会の実施：実施していません。 ③情報連携システム整備に関する検討及び整備 担当者会議2回、全職員からの意見徴取1回 対馬市会議システムについては、システム構築について検討</p>	
	3. 評価	△
	<p>担当者による検討会議を開催したものの、対馬市会議システムの整備検討など、情報連携ツールの方向性が確立できなかったため、マニュアルの完成には至らなかった。</p>	
	4. 今後の展開	
	<p>マニュアルの作成と対馬市会議システムの導入に向け検討を進め、早期に完成・実施を図ることで、市役所の内部の情報共有の徹底と、効果的な情報の発信・運用を行います。</p>	

全体	No.3
個別	001-03

平成26年度 [しまづくり戦略本部] 目標の成果

課名	新政策推進課
----	--------

No.	項目	異業種が連携した産業振興策を検討します。
	1. 組織目標	
	<p>【内容】 島内の様々な業種で組織する「異業種連携推進協議会（仮称）」を立ち上げ、異業種が連携した産業の振興策を検討します。</p> <p>【指標】 「異業種連携推進協議会（仮称）」の立ち上げ</p>	
	2. 実績（成果）	
	<p>○平成26年7月22日 対馬市異業種間連携交流協議会設立会議 参加組織：農協、森林組合、市内漁協、観光物産協会、建設業協会対馬支部、社会福祉協議会、商工会、長崎県、対馬市 それぞれの業種の強みや課題を共有、連携し、対応策の検討を行うことで、それぞれの業種の発展、ひいては対馬の発展に寄与することを目的とし、任意団体として設立した。</p> <p>○平成26年10月10日 第2回対馬市異業種間連携交流協議会 人口減少対策と対馬島内の燃油価格高騰問題についての協議。</p> <p>○平成27年2月13日 第3回対馬市異業種間連携交流協議会 燃油価格高騰問題、人材確保、人材育成についての協議。</p> <p>○創業支援会議の設置：平成26年10月 構成団体：商工会、農協、森林組合、漁協、十八銀行、親和銀行、長崎大、長崎県立大、慶應義塾大SFC研究所、長崎県、対馬市 創業等を希望する人を、それぞれの強みをいかにしながら連携して支援します。</p> <p>○ワンストップ相談窓口の設置 創業に関する相談窓口を対馬市新政策推進課に一元化しました。</p>	
	3. 評価	○
	<p>対馬市異業種間連携交流協議会を設立し、異業種が連携した産業の振興策等について意見を交換しました。 また、市内における新規の創業を推進していくために、「対馬市創業支援会議」を設置しました。</p>	
	4. 今後の展開	
	<p>今後は、協議会を年に3回程度開催し、異業種が連携した産業の振興策を検討します。 また、創業支援会議において、市内における創業の支援を行います。</p>	

全体	No.4
個別	001-04

平成26年度 [しまづくり戦略本部] 目標の成果

課名	新政策推進課
----	--------

No.	項目	5つの循環の構築に向け短期計画を明確にします。
	1. 組織目標	<p>【内容】 「自立するふるさとのしま 対馬」をキャッチフレーズに、「海」「森林」「国際ビジネス」「生ゴミ」「地域コミュニティ」の5つの循環を提唱し、地域資源を活用した産業振興と循環型社会の実現に向けて調査や検討を進めます。 今年度は、各循環の組織されたすべての部会（9部会）において、平成29年度までの3箇年計画を作成し、明確な方向性を定めることとします。</p> <p>【指標】 ・推進本部会議の開催 2回 ・プロジェクト部会（9部会）の開催 随時 ・各部会3箇年計画作成 9部会</p>
	2. 実績(成果)	<p>○推進本部会議の開催：平成26年4月25日、11月26日 ○プロジェクト部会（9部会）の開催</p> <p>【海の循環】 ・海洋保護区設定・市場開設部会：6月3日、3月24日 ・塩づくり部会：11月18日</p> <p>【森林の循環】 ・森林資源循環活用部会：6月5日 ・国際「水ビジネス」部会：8月7日、2月4日 ・生物多様性保全と集落づくり・人づくり部会：開催なし</p> <p>【国際ビジネスの循環】 ・森づくり（主伐）海外モデル住宅展示プレカット工場整備部会 5月16日、6月17日、10月15日、1月28日</p> <p>【生ゴミの循環】 ・生ゴミ回収、堆肥化、生産物の給食利用部会 5月26日、8月5日、10月28日、2月2日</p> <p>【地域コミュニティの循環】 ・健康とスポーツ振興部会：5月27日、9月2日、11月11日 ・地域見守り体制整備、地域バス運行部会：6月27日、3月30日 ○各部会3箇年計画の作成：9部会全て作成済み</p>
	3. 評価	○
		<p>国際ビジネスの循環では、韓国ソウル市において、対馬産材を一部使用したモデル住宅を建築、展示会などの実施により対馬産材のPRを行いました。 生ゴミの循環では、生ゴミの堆肥化施設を整備しました。生ゴミの回収体制の構築が課題です。 地域コミュニティの循環では、救急車に心電図伝達装置を整備しました。また、温水プールを活用した健康教室を開催しました。</p>
	4. 今後の展開	<p>5つの循環に「域学連携」を追加し6つの循環とし、更に自立した循環型社会の実現に向け検討を進めていきます。</p>

全体	No. 5
個別	001-05

平成26年度 [しまづくり戦略本部] 目標の成果

課名	未来創造・交通政策課
----	------------

No.	項目	対馬地域病院（仮称）への交通アクセスを構築します。
	1. 組織目標	
	<p>【内容】</p> <p>平成27年春に開設予定である対馬地域病院（仮称）に伴い、新病院へのアクセスを検討し、住民のより良い利便性を確保するための交通ダイヤを構築します。</p> <p>【指標】</p> <p>住民の利便性が向上するよう新病院までの交通体制を構築します。</p>	
	2. 実績（成果）	
	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年9月に対馬地域新病院（仮称）交通アクセス計画を策定しました。 対馬地域新病院（仮称）交通アクセス検討委員会の開催：4回（平成25年度2回） 	
	3. 評価	○
	<p>対馬地域新病院（仮称）交通アクセス計画を策定することにより、交通体制を構築するにあたっての問題点、解決方法等が明確となりました。</p> <p>厳原市街地から新病院へのアクセスを1日27便確保すること、尾崎線・竹敷線・昼ヶ浦線の終点を新病院へ変更すること、1日フリーパス券を平日利用可能へと変更すること等を計画しました。</p>	
	4. 今後の展開	
	<p>平成27年度5月以降の利用状況や利用者の意見等を参考にしながら、必要に応じて対馬市地域公共交通活性化協議会で協議を行い、引き続き、更なる利便性の向上を目指します。</p>	

全体	No.6
個別	001-06

平成26年度 [しまづくり戦略本部] 目標の成果

課名	未来創造・交通政策課
----	------------

No.	項目	エネルギーに関するマスタープランの策定を進めます。
	1. 組織目標	
	<p>【内容】</p> <p>近年、再生可能エネルギーが大きな注目を集めているが、天候などの自然に左右される不安定なエネルギーであり、系統の安定性に影響を与えやすいなどの技術的課題があり、対馬においてはすでに導入に一定の制約が生じている。このような状況にある中、化石燃料に過度に依存しない、安心・快適で豊かな「次世代型・エネルギー自立の島」を実現するため、対馬におけるエネルギー供給体制の在り方についてマスタープランの策定を行う。</p> <p>【指標】</p>	
	2. 実績(成果)	
	<p>エネルギー自給率の向上に向け、LED照明の導入推進を中心とした省エネ化や木質バイオマスを中心としたエネルギー供給、輸送用燃料や電気エネルギー貯蔵の視点から水素エネルギー利用の可能性について検討し、「対馬市エネルギーマスタープラン」として取りまとめました。</p>	
	3. 評価	○
	<p>各種再生可能エネルギーの導入に係る可能性を検討する中で問題点やコストなどを把握することができました。</p> <p>再生可能エネルギーの導入には、未だコスト面や安定性の問題などから種々の課題がありますが、今後、対馬のエネルギー自給率向上に向けた構想を取りまとめることができたため、その方向性を示すことができました。</p>	
	4. 今後の展開	
	<p>電気エネルギーについては、対馬の系統の脆弱性の問題から導入には様々な制約が生じていますが、検討された木質バイオマス発電や熱供給など安定的なエネルギー供給が可能なものから、導入に係る費用対効果を勘案し順次導入を図っていきます。</p>	

全体	No. 7
個別	002-01

平成26年度 [総 務 部] 目標の成果

課 名	総 務 課
-----	-------

No.	項 目	市民協働型の行財政システムの確立を目指します。
	1. 組 織 目 標	
	<p>【 内 容 】</p> <p>市民と行政の連携による質の高い協働型市政を確立するため、合併から今日まで取り組んできた行財政改革を継続しつつ、足腰の強い財政基盤を構築し、地域の特性を活かした自立性、独自性のある自治体運営を目指します。</p> <p>【 指 標 】</p> <p>① 第3次対馬市行財政改革大綱作成に係る諮問・答申作成 ② 業務改善システムの作成</p>	
	2. 実 績 (成 果)	
	<p>平成26年4月から大幅な見直しによる新組織機構での行政サービスが始まりましたが、新体制における業務の開始後に発生する問題の調整や改善等の取り組みが急務となったため、目標の指標とした業務を進めることができませんでした。</p>	
	3. 評 価	×
	<p>組織見直しにより発生する業務課題をまとめ計画策定に取り組むべきでしたが、新体制開始後に発生する一つ一つの問題に対する対応に終わりました。目標とした取り組みを進めるまでには至りませんでした。</p>	
	4. 今 後 の 展 開	
	<p>現在の組織機構における業務形態について状況把握に努め、業務の整理・合理化を図るとともに、指定管理者制度の活用や民間委託等の検討を進め、将来的に持続可能な自治体運営のあり方を常に見直し、改善し、取り組みを進めます。</p>	

全体	No.8
個別	002-02

平成26年度 [総 務 部] 目標の成果

課 名	財 政 課
-----	-------

No.	項 目	健全な財政運営の執行と財政状況のわかりやすい公表																	
	1. 組織目標	<p>【 内 容 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の財政状況や予算・決算などについて、市報・ホームページにわかりやすい形で掲載し、市の財政状況に関する市民の理解を深められるように努めます。 ・交付税の動向を注視し、限られた財源の有効配分を図るため予算要求方法の見直しを検討します。 ・将来の公債費抑制を図るため、積極的な繰上償還を実施します。 ・地方公会計整備に対応するため、全庁的な体制整備（ワーキンググループ等の設置）を進めます。 <p>【 指 標 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予算、決算の状況について広報、ホームページに掲載 																	
	2. 実績(成果)																		
	<ul style="list-style-type: none"> ・財政状況等公表状況 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">公表項目</th> <th style="width: 20%;">ホームページ</th> <th style="width: 20%;">市報</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成26年度当初予算</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○ (概要版)</td> </tr> <tr> <td>平成25年度下半期及び平成26年度上半期予算の執行状況</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>平成25年度決算</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>平成25年度健全化判断比率及び資金不足比率</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平成24、25年度財務諸表</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・繰上償還 500,000千円 	公表項目	ホームページ	市報	平成26年度当初予算	○	○ (概要版)	平成25年度下半期及び平成26年度上半期予算の執行状況		○	平成25年度決算		○	平成25年度健全化判断比率及び資金不足比率	○		平成24、25年度財務諸表	×	
公表項目	ホームページ	市報																	
平成26年度当初予算	○	○ (概要版)																	
平成25年度下半期及び平成26年度上半期予算の執行状況		○																	
平成25年度決算		○																	
平成25年度健全化判断比率及び資金不足比率	○																		
平成24、25年度財務諸表	×																		
	3. 評 価	△																	
		<p>中期財政計画に基づく財政運営に努めながら、税金等の貴重な財源を、どのような事業に使ったかなど、当初予算をわかりやすく説明した「対馬市のしごと 平成26年度の予算」を作成し、区長会議で配付するとともに、ホームページで公表しました。平成25年度の決算状況についても広報に掲載しました。</p> <p>平成24、25年度の財務諸表については、作成作業が遅れ、平成26年度内の公表に至りませんでした。また、地方公会計整備については、担当者の知識取得のための研修会参加などを行いました。全庁的な体制整備までには至りませんでした。</p>																	
	4. 今後の展開	<p>今後も健全な財政運営に努め、市の財政状況、予算、決算について市民にわかりやすい形で公表していきます。また、積極的な繰り上げ償還を実施し、将来の公債費負担を抑制します。</p> <p>地方公会計整備については、公共施設等総合管理計画策定とともに平成26年度に国より整備促進の要請がなされたところであり、示されたスケジュールに沿って取り組みます。</p>																	

全体	No.9
個別	002-03

平成26年度 [総 務 部] 目標の成果

課 名	財 政 課
-----	-------

No.	項 目	入札・契約の適正化
	1. 組 織 目 標	
	【 内 容 】	<p>常に入札契約制度の検証を行い、公正性の確保・客観性・透明性の向上に努めます。また、現下の経済情勢を考慮し、国・県の動向と歩調を合わせ、適正な落札率となるよう運用を図ります。</p> <p>また、本年度は、現在の入札参加資格者申請について検証を行い必要に応じ、改めるよう努めます。</p> <p>さらに、業者の格付けについても検証し、必要に応じ、改めるよう努めます。</p>
	【 指 標 】	<ul style="list-style-type: none"> ・建設工事入札の最低制限基礎価格の乗率を90%とすることを継続し、さらにコンサル業務、役務についても最低制限価格を設定し、適正な落札率となるよう運用を図ります。 ・現入札参加資格者申請について、検証を行い、必要に応じ改めます。 <p>また、業者の格付けについても検証し、必要に応じ改めます。</p>
	2. 実 績 (成 果)	
		<p>本課が取り扱った入札契約件数は、建設工事160件、建設工事関連コンサルの入札85件、物品・役務等100件で、平均落札率は、建設工事では92.07%でほぼ昨年と同等の落札率でした。また、コンサル業務については最低制限基礎価格の乗率を75%と設定し入札を実施し、平均落札率は83.50%でした。物品・役務の平均落札率については83.18%でした。</p> <p>建設工事の入札について不正行為の排除と入札参加者の積算努力の促進を図るため、入札時に工事費の内訳書の提出を義務づけた対馬市工事費内訳書取扱要綱を定めました。</p>
	3. 評 価	○
		<p>落札率はほぼ昨年と同等であり、適正に推移しているものと考えます。</p> <p>工事費内訳書取扱要綱の制定により適正な積算能力を有する業者へ公共工事を発注することが可能となりました。</p> <p>建設業者等の信用及び技術力等を重視するとともに公正自由な競争を図ることができました。</p>
	4. 今 後 の 展 開	
		<p>入札契約制度を常に検証し、公正性・公平性・客観性を追求し、制度の構築に努めます。</p>

全体	No. 1 0
個別	003-01

平成26年度 [総合政策部] 目標の成果

課名	政策企画課
----	-------

No.	項目	市民協働による第2次対馬市総合計画の策定を進めます。
	1. 組織目標	<p>【内容】</p> <p>平成28年度開始の第2次対馬市総合計画の策定において、市民総出による手作りの計画になるよう、また、地域の資源や宝、人材を活用した地域間連携による新規産業化を目指し、地域マネージャーや外部・内部支援員、地域による協働の取り組みとして策定する地域づくり計画を最大限反映させた計画とします。</p> <p>【指標】</p> <p>平成26年度：地域づくり計画の策定 第1次総合計画の検証・評価</p>
	2. 実績(成果)	
	3. 評価	<div style="text-align: center; font-size: 2em; margin-bottom: 10px;">○</div> <p>平成26年度の取り組み計画中、地域づくり宣言については、期間的なものもあり、5割弱の策定状況ではあるが、現在取り組み中の行政区もかなりあることから、一定の評価ができると考える。</p> <p>その他業務については、ほぼ計画どおりに実施できた。</p>
	4. 今後の展開	<p>地域づくり宣言及び各種団体等ヒアリング結果を基に、①ひとづくり、②なりわいづくり、③ふるさとづくり、④つながりづくり の4つを主要テーマとし、短期的に集中して実施する事業、施策を網羅した「第2次対馬市総合計画」を策定する。</p>

全体	No. 1 1
個別	003-02

平成26年度 [総合政策部] 目標の成果

課名	政策企画課
----	-------

No.	項目	水ビジネス事業を推進します。
	1. 組織目標	<p>【内容】 一般県道瀬浦巖原港線の「内山坂トンネル」における湧水について、新たな資源と認識し、昨年、一昨年の調査結果を基に、新規事業化に向けた取組みとして、事業実施主体の選定に向けた関連企業へのアプローチを行います。</p> <p>【指標】 湧水の成分、湧出量等の調査結果を基に、新規事業化に向け、関連企業への訪問を加速させます。 平成26年度：関連企業訪問（複数社）、平成27年度：実施主体の決定</p>
	2. 実績（成果）	<p>本年度、新規事業化に向け、地方公共団体が関与する小規模事業者を中心に熊本県下3事業者の施設規模や運営状況、採算性等の視察調査を実施。 また、島内において水産業に興味を持つ民間事業者との意見交換等を行った。</p> <p>視察調査の結果、豊富な湧水量と知名度を誇る熊本県下の事業者も苦戦しており、事業化の前に一定の顧客、複数の販路を持たないと厳しいとの現状であった。 また、島内意向事業者の起業については、他地域の状況等を考慮し、早急な起業は出来ないことを確認した。</p>
	3. 評価	△
	4. 今後の展開	<p>事業化に向けた取組みは継続するが、現在の市場状況を考慮し、当分の間、休止も含め、部会にて協議していく。 なお、関連企業へのアプローチは継続していく。</p>

全体	No. 1 2
個別	003-03

平成26年度 [総合政策部] 目標の成果

課名	市民協働・自然共生課
----	------------

No.	項目	地域マネージャー制度事業による地域づくり計画の策定を推進します。
	1. 組織目標	
	<p>【内容】</p> <p>市民と集落支援員、地域マネージャーの連携による集落点検、ワークショップなどを通じて、市民主導の地域づくり計画の作成を全ての地区もしくは校区において作成できるように地域マネージャーや集落支援員を対象にした研修会を開催します。</p> <p>【指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合同研修会を年3回開催します。 ・校区会議を年1回開催します。 	
	2. 実績(成果)	
	<p>平成26年 5月 7～9日 地域マネージャー校区会議 平成26年 5月21～23日 キックオフミーティング 平成26年 7月 9～11日 合同研修会(第1回) 平成26年10月 7～9日 合同研修会(第2回)</p> <p>地域マネージャー校区会議、合同研修会(キックオフミーティング含む)を計画どおり実施できました。合同研修会については3回を2回で実施完了しました。</p>	
	3. 評価	○
	<p>地域づくり計画作成は、地域と集落支援員、地域マネージャーが連携して作成していくことが必須となります。校区会議、キックオフミーティングにおいて地域づくり計画を作成する意義を認識し、合同研修会では、そのためのノウハウや技術を学ぶ研修会とすることができました。</p>	
	4. 今後の展開	
	<p>地域づくり計画は、地域づくりの1つのツールであるため、計画策定の支援はもちろんですが、具体的な計画や事業の実施を支援していくことがさらに重要であり、そのためには地域にマンパワーが必要であります。引き続き、地域や集落支援員、地域マネージャーに対して、地域づくりに対し様々な支援を実施していきます。</p>	

全体	No.13
個別	003-04

平成26年度 [総合政策部] 目標の成果

課名	観光交流商工課
----	---------

No.	項目	魅力ある観光情報システムづくりを目指します。
	1. 組織目標	
	<p>【内容】</p> <p>昨年度までにスマートフォン用アプリの制作、公衆無線LANサービス環境構築、観光ガイドブック及びPRポスターのリニューアルなどアナログ・デジタルの両面から観光情報システムの構築を実施してきました。これら多くの情報はあつたものの、それでも年配の方々にはもっとアナログでの情報が必要との声もあるなか、本年度から観光案内・誘導板の設置をメインに実施していきます。</p> <p>【指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光案内・誘導板を島内全域に33基設置予定 	
	2. 実績(成果)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・観光案内・誘導板を島内全域に39基設置しました。 	
	3. 評価	○
	<p>目標指標を上回る観光案内・誘導板を設置することができ、市内各所に点在する観光地までスムーズに誘導を促すことは、満足度の向上につながると考えます。</p>	
	4. 今後の展開	
	<p>団体旅行から個人旅行へのニーズが高まり旅行形態が多様化してきています。また外国人観光客も急増しており、観光案内・誘導板の設置による観光地までのスムーズな誘導を行うよう引き続き、事業を継続します。</p>	

全体	No.1 4
個別	003-05

平成26年度 [総合政策部] 目標の成果

課名	観光交流商工課
----	---------

No.	項目	商業地域を中心としたにぎわいづくりをします。
	1. 組織目標	
	【内容】	<p>市内商店街は、人口の減少や過疎高齢化などにより以前の活気が失われ、にぎわいが低迷し続けています。しかし、昨年度から実施された「しまとく通貨」は順調に売り上げを伸ばしており、今後もますます消費の拡大が期待されています。また、年々増加している韓国人観光客など商店街のにぎわいづくりには絶好の好機となっています。この状況を活かすため、各事業者向けの研修会等を実施し知識や意識の啓発を行うとともに、商工業支援事業により資金面の下支えをしていきます。</p>
	【指標】	<p>商店街活性化の研修会等の開催 年3回 商工業活性化の協議 年3回 対馬市商店街にぎわい創出支援事業補助金 対馬市農商工連携支援事業補助金 対馬市小規模企業融資補助金</p>
	2. 実績(成果)	
		<p>対馬市商店街にぎわい創出支援事業補助金・・・2百万円 採択1件 対馬市農商工連携支援事業補助金・・・3百万円 採択1件 対馬市小規模企業融資補助金・・・対馬市中小企業振興資金融資条例及び対馬市中小企業創業資金融資条例に制度を変更。前年度末の融資残額に比して当年度の融資残高が90百万円増加。</p>
	3. 評価	○
		<p>補助金関連の指標については達成しました。特に小規模企業融資補助金は制度を変更した結果、銀行からの強い協力があつたことにより、大幅増加出来たことで、地域の企業の振興・創業に効果がありました。</p>
	4. 今後の展開	
		<p>引き続き創業・起業の支援を行っていきます。 また商工業の活性化をめざして、商業・商店街の振興のために研修や協議を行っていきます。</p>

全体	No. 1 5
個別	003-06

平成26年度 [観光物産推進本部] 目標の成果

課 名 観光交流商工課

No.	項 目	国際交流イベントをはじめとした、交流人口の拡大
	1. 組織目標	
	【 内 容 】	韓国でのフェリー事故の影響が懸念されますが、通年による国際交流事業の支援活動を実施し、韓国をはじめとする東アジアからの観光客の増加を図ります。
	【 指 標 】	
	・国境マラソンIN対馬	参加者数 1, 400人
	・対馬厳原港まつり	観客数 31, 000人
	・対馬ちんぐ音楽祭	観客数 500人
	・韓国人観光客数	190, 000人
	2. 実績(成果)	
	・国境マラソンIN対馬	参加者数 約1, 378人
	・対馬厳原港まつり	観客数 約12, 000人
	・対馬ちんぐ音楽祭	観客数 0人
	・韓国人観光客数	約194, 032人
	3. 評 価	×
		国境マラソンについては、目標値に近い参加者数となりましたが、対馬厳原港まつりは、朝鮮通信使の再開を準備されていましたが、あいにくの台風で花火も併せて中止となり、ステージは交流センターに場所を変更したものの魅力に欠けるものとなり、例年の半分以下の観客数となりました。 対馬ちんぐ音楽祭は、海道音楽祭と名称を変更し、内容を再度検討するため昨年度は実施されませんでした。
	4. 今後の展開	
		引き続き各イベントの実行委員会と連携しながら、対馬の宣伝事業や交流イベントの支援を効果的に行っていくことで、観光客の誘致に努めていきたいと思えます。特に、海道音楽祭は、実行委員会との連携を密にし、これまでの流れも大事にしながら再編活動および実施の後押しをします。

全体	No.16
個別	003-07

平成26年度 [総合政策部] 目標の成果

課名	観光交流商工課
----	---------

No.	項 目	地場産品の更なる消費拡大に取り組みます。
	1. 組織目標	
	<p>【内容】 物産展等の継続開催や出展により、対馬の認知度向上と特産品PR・販路開拓を図ります。 福岡事務所や対馬観光物産協会と連携し、認知度向上による「つしまヂカラ」戦略プランに基づき、特産品のPRと販路開拓及び対馬産品取り扱い店舗拡大に取り組みます。 昨年オープンした「よりあい処つしま」を活用し、定期的な対馬フェアを開催することで、PR・集客・誘客はもちろん、対馬特産品取扱店舗の開拓を行います。 商品づくりの専門家による勉強会や指導・相談会の開催、バイヤーとの商談会を開催し、消費者ニーズに応じた商品づくりや販路開拓を図ります。 「海山交流」を行っている地域と、物産・人・情報交流事業等に取り組みます。</p> <p>【指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・九州管内での物産展等の開催 5回以上 ・各種物産展の企画・出展・斡旋 10回以上 ・海山交流イベント 5回 	
	2. 実績(成果)	
		<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の物産展では、主に福岡県内で10回、東京8回、長崎4回、大阪2回のほか多数の出展・出品を行いました。(合計32回) ・「よりあい処つしま」において、食材PRフェアを4回開催しました。(まぐろ、あなご、サザエ、秋サバ) ・海山交流イベントでは、熊本県山江村と3回、岐阜県中津川市と3回の交流事業を行いました。
	3. 評価	○
		<p>指標については、数値目標を達成することができました。 物産展への出展により、消費者の求める商品の把握ができ、商品の改良・新商品の開発等売れる商品づくりに繋がりました。また、飲食店やホテル等に食材を提供することで、物産品及び対馬のPRが図られ認知度向上に繋がりました。</p>
	4. 今後の展開	
		<p>継続して物産展を開催・出展することで知名度の向上を図るとともに、都市圏でのイベント開催・出展による認知度向上及び販路拡大を行います。 また消費者ニーズに応じた商品開発や販売方法等の改善を図るため、専門家による勉強会や相談・指導、バイヤー商談会を開催し売り上げの増加に繋げていきます。</p>

全体	No.17
個別	003-08

平成26年度 [総 合 政 策 部] 目標の成果

課 名	観 光 交 流 商 工 課
-----	---------------

No.	項 目	重点誘致対象分野を絞った企業誘致に取り組みます。
	1. 組 織 目 標	
	【 内 容 】	<p>地域経済の活性化や若者の島内定住、雇用創出などを促進するため、対馬の自然（海、山、里）が生み出す資源、素材を活用した「農林水産業関連の企業」をはじめ「情報通信関連企業」「旅館業等観光関連産業」を誘致企業の重点対象分野にしています。その中でも昨年度に引き続き、韓国からの観光客の増加に伴い、宿泊施設等の誘致に取り組みます。</p>
	【 指 標 】	<ul style="list-style-type: none"> ・ホテル誘致にかかる企業等への営業 1社以上 ・簡易宿泊施設・キャンプ施設の整備計画の策定 1施設以上
	2. 実 績 (成 果)	
		<ul style="list-style-type: none"> ・ホテル誘致にかかる企業等への営業 新規5社
	3. 評 価	○
		<ul style="list-style-type: none"> ・重点分野の宿泊施設誘致に向けて企業への営業を進めております。また25年度の三宇田の公募の課題であった宿泊人数の解決に向けて、協議し宿泊人数の増加を図りました。
	4. 今 後 の 展 開	
		<p>引き続き重点分野にかかる企業誘致の営業を進めます。また公募を開始し、宿泊施設等の事業者の誘致に注力致します。</p>

全体	No.18
個別	003-09

平成26年度 [総合政策部] 目標の成果

課名	観光交流商工課
----	---------

No.	項目	しまとく通貨のPR及び加盟店への勧誘を推進します。
	1. 組織目標	
	【内容】	長崎県内のしま市町で共通に利用できる20%のプレミアム付商品券を島外からの観光客・ビジネス客を対象に市町の加盟店で利用できる「しまとく通貨」として販売し、誘客及び消費の拡大を図ります。
	【指標】	<ul style="list-style-type: none"> ・しまとく通貨のPR 市報への掲載 1回 ・消費の拡大を目的に「しま得通貨マップ」の作成
	2. 実績(成果)	
		<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌6月号に掲載しPRを行いました。 ・埼玉県で「長崎のしまフェア」を開催し、7つの島が集まって特産品の販売や島のPRを行ったほか、各種イベントにおいてもしまとく通貨のPRを実施しました。 ・「しまとく通貨加盟店マップ」を作成しました。
	3. 評価	○
		指標については、数値目標のとおりほぼ達成することができました。広報誌の他、各種イベント等で広くPRすることで、しまとく通貨の知名度も向上し利用促進に繋がりました。
	4. 今後の展開	
		しまとく通貨をきっかけとした更なるしまのPRに努め、観光客の誘客と消費の拡大を図ります。

全体	No.19
個別	003-10

平成26年度 [総 合 政 策 部] 目標の成果

課 名	福 岡 事 務 所
-----	-----------

No.	項 目	福岡における対馬市の認知度向上及び物産の消費拡大を図ります。
	1. 組 織 目 標	
	【 内 容 】	<p>ロコミ情報発信力が強い福岡の女性に対してコアな対馬ファンを獲得するため、「つしまドンナ」を募集し広く対馬のPRを行い、旅行客の増大を図り、対馬の地域経済の活性化向上を図ります。</p> <p>また、対馬の「！（おっ）」をブログで発信し、対馬の認知度向上を図ります。</p>
	【 指 標 】	<ul style="list-style-type: none"> ・つしまドンナ50名認定。 ・ブログ更新とアクセス数のアップ。
	2. 実 績 (成 果)	
		<ul style="list-style-type: none"> ・つしまドンナ43名認定。 <p>平成26年度から、つしまドンナを公募開始。ロコミ力がある女性・対馬ファンの女性をつしまドンナとして認定しました。</p> <p>また、つしまドンナが自ら企画したイベントなども実施し、より効果的な対馬のPR（観光・物産等）が行えました。併せて、つしまドンナメンバー増員につなげました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブログアクセス数：6,000／月
	3. 評 価	△
		<ul style="list-style-type: none"> ・つしまドンナ43名認定 <p>つしまドンナについては、平成26年度からメンバー応募を開始し、現在43名を認定しました。</p> <p>また、つしまドンナ結成メンバーによる会議を4回開催し、活動方針、メンバー拡大のための施策、イベントの企画・実施等の協議を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブログアクセス数：6,000アクセス／月 <p>対馬の「！（おっ）」を発信し、アクセス数は6,000アクセス／月でした。</p>
	4. 今 後 の 展 開	
		<p>対馬観光物産協会嘱託職員およびつしまドンナと連携し、一人でも多くのコアな対馬ファン獲得を図ります。そのため、ブログで対馬の「！」を一つでも多く、つしまドンナの皆さまにも協力していただきながら、ロコミ等で対馬の「！」を情報発信していきます。</p> <p>さらに、よりあい処つしまを活用した企画を行い、また、他自治体と連携しながら対馬の観光振興および物産の消費拡大、よりあい処つしまの認知度向上に努めます。</p>

全体	No.20
個別	003-11

平成26年度 [総合政策部] 目標の成果

課名	観光交流商工課 <small>歴史のまちづくり・世界遺産登録推進室</small>
----	--

No.	項目	国境を越えた文化交流の充実及び文化財の活用・保護を図ります。
	1. 組織目標	
	<p>【内容】</p> <p>①対馬歴史街道博物館(仮称)施設の整備推進 ②朝鮮通信使関連遺産のユネスコ世界記憶遺産登録へ向けた活動支援</p> <p>【指標】</p> <p>1 博物館建設について、その計画推進 (1)完成へのスケジュール調整 (2)博物館建設に関する市関係部局調整会議(年4回) (3)建設に係る県との調整会議(年12回) (4)博物館建設に係る整備等文化庁協議(年2回) (5)設計業務へ向けた準備事務 2 世界記憶遺産登録活動支援 (1)関係会議への参加 (2)支援助言(随時)</p>	
	2. 実績(成果)	
	<p>1 (2)(3)(4) 市関係部調整会議は5回、県との調整会議10回、文化庁協議2回の会議実績。市関係部については、必要に応じ適宜開催をできた。</p> <p>1-(1) 県立歴史民俗資料館の新館建設までの処遇変化により、完成へのスケジュールが未だはっきりしない状態になっている。</p> <p>1-(5) 長崎県が一体整備の方針を公表したのが年度末であったため、それまで全く手を付けられない状態であった。</p> <p>また年度途中より、博物館周辺の環境整理を目的に、「博物館建設に係る金石城跡及びその周辺整備計画」を策定し、今後の整備方針を把握することができた。</p> <p>2 推進部会の一員として、会議に1度参加をした。</p>	
	3. 評価	△
	<p>1 博物館施設の整備推進については、昨年度と比べれば、県との協議回数、内容ともに充実はしたが、あくまで長崎県の公式表明を待つ以上、スケジュール、整備計画等纏めることができていないことを考えれば、(回数ではない)中身の目標実績は達成できていないと考える。</p> <p>2 世界記憶遺産登録活動支援については、会議に参加をしただけで、通年で有効な支援を行えてるかと言え、期待通りとは言えない。</p>	
	4. 今後の展開	
	<p>1 引き続き、博物館建設の整備推進のために、県・文化庁との協議を深め、ハード・ソフト事業共に取り組むことができるよう、博物館完成年度 平成30年を達成目標として目指していく。</p> <p>2 世界記憶遺産登録については、求められる業務を再考し最大限の支援を行い登録への貢献を目指す。</p>	

全体	No.2 1
個別	004-01

平成26年度 [市 民 生 活 部] 目標の成果

課 名	市 民 課
-----	-------

No.	項 目	窓口ワンストップ化、親切な窓口づくり、証明書交付事務の適正化と効率化
1.	組 織 目 標	
	<p>【 内 容 】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 市役所の全体業務を把握し、来訪者への適正な説明、案内に努め、窓口ワンストップ化を推進します。 2 あいさつの励行、積極的な声かけ、丁寧な対応による親切な窓口づくりを推進します。 3 各窓口センター及び郵便局における証明書等交付事務の現状把握と見直しを行い、迅速な処理と正確な事務を確保します。 <p>【 指 標 】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 窓口ワンストップ化の推進 2 市民の方の要求に、丁寧かつ親身な対応を積極的に行います。 3 各窓口センター及び郵便局の証明書交付事務は、受付、審査・交付に至る事務や執務環境を検証し改善を行います。 	
2.	実 績 (成 果)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・窓口サービスについては、当課以外の全庁の照会に細やかに対応できた。 ・カウンターからの積極的な声かけは、電話対応や窓口センター・郵便局の証明書交付事務が重なった際に十分な対応ができなかった。 ・5郵便局の証明書交付事務の導入後、各郵便局へ訪問し現場の声を反映させた。26年度は初年度にあたるが、事故等もなく制度の目的が達せられた。 	
3.	評 価	○
	<p>市民課窓口は、職員一丸となり接遇等の向上を図り、他の窓口への案内なども積極的に行い、一応の成果が出たと考えます。</p>	
4.	今 後 の 展 開	
	<p>課員は、各自専門分野の知識を高め、市民のお役に立てる窓口づくりを行います。</p> <p>各窓口センター、郵便局の証明書交付事務は事務の現状を把握し、迅速かつ正確な事務を実現します。</p> <p>番号制度の導入にあたっては、具体的な番号の使い方や利用場面などをわかりやすく広報していきます。</p>	

全体	No. 2 2
個別	004-02

平成26年度 [市 民 生 活 部] 目標の成果

課 名	税 務 課
-----	-------

No.	項 目	滞納処分の強化																												
	1. 組 織 目 標																													
	<p>【 内 容 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・滞納者対策の強化として、厳正な滞納処分を実施するため、積極的に財産調査、預貯金調査、生命保険等の調査を行い差押えの実施および滞納処分の停止等滞納整理の充実を図る。 ・臨戸徴収から自主納付(口座振替等)への推進 ・不動産公売の強化 <p>【 指 標 】</p>																													
	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">26年度目標</td> <td style="width: 15%;">市 税</td> <td style="width: 15%;">現年分徴収率</td> <td style="width: 15%;">97.30%</td> <td style="width: 15%;">前年度実績</td> <td style="width: 15%;">97.02%</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>滞納分徴収率</td> <td>15.00%</td> <td>前年度実績</td> <td>10.72%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>国 保 税</td> <td>現年分徴収率</td> <td>92.00%</td> <td>前年度実績</td> <td>90.44%</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>滞納分徴収率</td> <td>12.00%</td> <td>前年度実績</td> <td>9.79%</td> </tr> </table>	26年度目標	市 税	現年分徴収率	97.30%	前年度実績	97.02%			滞納分徴収率	15.00%	前年度実績	10.72%		国 保 税	現年分徴収率	92.00%	前年度実績	90.44%			滞納分徴収率	12.00%	前年度実績	9.79%					
26年度目標	市 税	現年分徴収率	97.30%	前年度実績	97.02%																									
		滞納分徴収率	15.00%	前年度実績	10.72%																									
	国 保 税	現年分徴収率	92.00%	前年度実績	90.44%																									
		滞納分徴収率	12.00%	前年度実績	9.79%																									
	2. 実 績 (成 果)																													
	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">平成26年度実績</td> <td style="width: 40%;"></td> <td style="width: 30%; text-align: right;">目標徴収率に対する差</td> </tr> <tr> <td>市 税</td> <td> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">現年分徴収率</td> <td style="width: 15%;">97.26%</td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%; text-align: right;">△ 0.04%</td> </tr> <tr> <td>滞納分徴収率</td> <td>11.40%</td> <td></td> <td style="text-align: right;">△ 3.60%</td> </tr> </table> </td> <td></td> </tr> <tr> <td>国 保 税</td> <td> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">現年分徴収率</td> <td style="width: 15%;">92.32%</td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%; text-align: right;">0.32%</td> </tr> <tr> <td>滞納分徴収率</td> <td>10.40%</td> <td></td> <td style="text-align: right;">△ 1.60%</td> </tr> </table> </td> <td></td> </tr> </table>	平成26年度実績		目標徴収率に対する差	市 税	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">現年分徴収率</td> <td style="width: 15%;">97.26%</td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%; text-align: right;">△ 0.04%</td> </tr> <tr> <td>滞納分徴収率</td> <td>11.40%</td> <td></td> <td style="text-align: right;">△ 3.60%</td> </tr> </table>	現年分徴収率	97.26%		△ 0.04%	滞納分徴収率	11.40%		△ 3.60%		国 保 税	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">現年分徴収率</td> <td style="width: 15%;">92.32%</td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%; text-align: right;">0.32%</td> </tr> <tr> <td>滞納分徴収率</td> <td>10.40%</td> <td></td> <td style="text-align: right;">△ 1.60%</td> </tr> </table>	現年分徴収率	92.32%		0.32%	滞納分徴収率	10.40%		△ 1.60%					
平成26年度実績		目標徴収率に対する差																												
市 税	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">現年分徴収率</td> <td style="width: 15%;">97.26%</td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%; text-align: right;">△ 0.04%</td> </tr> <tr> <td>滞納分徴収率</td> <td>11.40%</td> <td></td> <td style="text-align: right;">△ 3.60%</td> </tr> </table>	現年分徴収率	97.26%		△ 0.04%	滞納分徴収率	11.40%		△ 3.60%																					
現年分徴収率	97.26%		△ 0.04%																											
滞納分徴収率	11.40%		△ 3.60%																											
国 保 税	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">現年分徴収率</td> <td style="width: 15%;">92.32%</td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%; text-align: right;">0.32%</td> </tr> <tr> <td>滞納分徴収率</td> <td>10.40%</td> <td></td> <td style="text-align: right;">△ 1.60%</td> </tr> </table>	現年分徴収率	92.32%		0.32%	滞納分徴収率	10.40%		△ 1.60%																					
現年分徴収率	92.32%		0.32%																											
滞納分徴収率	10.40%		△ 1.60%																											
	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">差押実績</td> <td style="width: 15%;">(平成26年度)</td> <td style="width: 15%;">(平成25年度)</td> <td style="width: 15%;">増減</td> </tr> <tr> <td>・一般(預金・生命保険・給与等)</td> <td style="text-align: center;">243 件</td> <td style="text-align: center;">269 件</td> <td style="text-align: center;">△ 26 件</td> </tr> <tr> <td>・不動産(搜索含む)</td> <td style="text-align: center;">31 件</td> <td style="text-align: center;">27 件</td> <td style="text-align: center;">4 件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td style="text-align: center;">274 件</td> <td style="text-align: center;">296 件</td> <td style="text-align: center;">△ 22 件</td> </tr> <tr> <td>滞納処分の停止実績</td> <td style="text-align: center;">274 件</td> <td style="text-align: center;">127 件</td> <td style="text-align: center;">147 件</td> </tr> <tr> <td>口座引落件数</td> <td style="text-align: center;">38,919 件</td> <td style="text-align: center;">38,524 件</td> <td style="text-align: center;">395 件</td> </tr> <tr> <td>不動産公売実績</td> <td style="text-align: center;">10件中6件</td> <td style="text-align: center;">13件中7件</td> <td></td> </tr> </table>	差押実績	(平成26年度)	(平成25年度)	増減	・一般(預金・生命保険・給与等)	243 件	269 件	△ 26 件	・不動産(搜索含む)	31 件	27 件	4 件	計	274 件	296 件	△ 22 件	滞納処分の停止実績	274 件	127 件	147 件	口座引落件数	38,919 件	38,524 件	395 件	不動産公売実績	10件中6件	13件中7件		
差押実績	(平成26年度)	(平成25年度)	増減																											
・一般(預金・生命保険・給与等)	243 件	269 件	△ 26 件																											
・不動産(搜索含む)	31 件	27 件	4 件																											
計	274 件	296 件	△ 22 件																											
滞納処分の停止実績	274 件	127 件	147 件																											
口座引落件数	38,919 件	38,524 件	395 件																											
不動産公売実績	10件中6件	13件中7件																												
	3. 評 価	△																												
	<p>平成26年度は、市民税の現年分を除くその他の税において、前年の徴収率を現年分繰越分ともに上回ったが、国保税の現年分を除き目標徴収率を下回った。また、国保税の現年分は、対馬市発足以来、初めて徴収率92%を上回った。</p> <p>税金全体に対する滞納繰越分の占める割合が依然として24.72%と高く、繰越分の徴収率が思うように伸びなかったが、現年・繰越合計での徴収率は74.87%で、前年を1.73%上回った。</p> <p>昨年に比べ、差押件数は減っているが、滞納処分の停止処分がかなり増加しており、財産調査等の滞納整理が進んでいるものと思われる。</p> <p>また、納税相談等により自主納付は微増ではあるが増加の傾向にあり、更なる推進に努めたい。</p>																													
	4. 今 後 の 展 開																													
	<ul style="list-style-type: none"> ・新規滞納者の早期接触をはかり滞納の解消および滞納者世帯の減少をはかる。 ・滞納世帯の分析、実態の把握を行い、効率的な滞納整理に取り組む。 (滞納整理重点地区を選び、滞納整理の強化にあたる。) ・長期差押不動産の換価価値について、精査を行い、効率のよい滞納整理をはかる。 ・分納誓約者及び継続債権差押者の履行監視を強化する。 ・現年分・繰越分合わせた未収額が、前年繰越額を上回らないよう努力する。 																													

全体	No.23
個別	004-03

平成26年度 [市民生活部] 目標の成果

課名	環境政策課
----	-------

No.	項目	各主体が連携したリサイクル、ゼロ・エミッションを推進します。
	1. 組織目標	
	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「元気野菜コンテスト」を開催している市民活動団体や生ごみ堆肥化の活動を行う各種団体を支援します。 ・生ごみ廃食油と廃食油資源の再利用システム実証実験に取り組みます。 <p>【指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第9回元気野菜コンテスト開催への支援（参加人数：100名） ・生ごみ・廃食油資源再利用システム実証実験事業の実施（回収世帯：3,000世帯） ・生ごみ堆肥化推進等によるごみ量の削減（生ごみ回収量：300t） 	
	2. 実績（成果）	
	<ul style="list-style-type: none"> ・第9回元気野菜コンテスト開催（平成27年1月11日開催 参加者約100人） ・生ごみ・廃食油資源再利用システム実証実験事業の実施（回収世帯：1,078世帯、週2回実施） ・生ごみ堆肥化推進等によるごみ量の削減（生ごみ削減量：約160t） 	
	3. 評価	△
	<p>昨年度に引き続き、今年度も生ごみ・廃食油資源再利用システム実証実験事業に取り組み、1,078世帯、週2回の回収を実施しました。今年度の生ごみ回収量も前年度より増加し、約160tとなっており、その分ごみ量の削減にも繋げることができました。</p> <p>しかしながら、目標としていた世帯数である3,000世帯、生ごみ回収量300tには届かなかったため、平成27年度は積極的な地区への呼びかけ、保育所等の公共施設を活用した取り組み、市報・CATV・関係団体を通して事業協力への周知を行い、設定目標に向けて取り組んでいきます。</p>	
	4. 今後の展開	
	<p>平成27年度も生ごみ・廃食油の分別収集及び堆肥化の実証実験に取り組み、将来的な市内全域での生ごみ等の回収に向けて収集体制の構築を図るとともに、回収した生ごみ等についても、平成26年度末に完成した「生ごみ等堆肥化施設」を活用して、堆肥の品質確立及び供給体制の検討も行い、取り組みを進めていきます。</p>	

全体	No.24
個別	004-04

平成26年度 [市民生活部] 目標の成果

課名	環境政策課
----	-------

No.	項目	海山等の自然環境を保全する活動を推進します。
	1. 組織目標	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海岸漂着物処理推進法及び長崎県海岸漂着物地域対策推進事業補助金を活用し、漂着物被害が著しい海岸を中心に海岸漂着物の円滑な処理を進めていきます。 ・海岸漂着物等の発生抑制のための関係者間の連携・交流等を目的とした環境学習を広く開催します。 <p>【指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度に実施した長崎県海岸漂着物地域対策推進事業補助金による漂着ごみの回収・処理を参考に漂着ごみの計画的な回収を実施します。 ・日韓市民ビーチクリーンアップ事業及び漂着ごみ回収イベントを実施します。(2回) ・海岸漂着物回収、処理予定数量：トン袋で17,000袋
	2. 実績(成果)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度の海岸漂着ごみについては、長崎県海岸漂着物地域対策推進事業補助金を活用しながら、トン袋で12,295袋回収しました。 ・日韓海岸清掃フェスタIN対馬事業の実施（平成26年8月24日に対馬市と市民活動団体の共同主催で実施しました。韓国人ボランティア23人、島内外の日本人ボランティア142人が参加し、約120㎡の漂着ごみを回収しました。また、シンポジウム及びワークショップも行い、有意義な意見交換の場となりました。） ・2014日韓市民ビーチクリーンアップ事業の実施（平成26年10月5日に韓国釜山外大の学生、市民等272人が参加し、約130㎡の漂着ごみを回収しました。）
	3. 評価	○
		<p>平成26年度も長崎県海岸漂着物地域対策推進事業補助金を活用し、大規模な海岸漂着物の回収を行い、海岸環境や景観に対し一定の成果を得られました。また、韓国釜山外大生との海岸漂着物回収イベント「日韓市民ビーチクリーンアップ事業」、対馬市と市民活動団体の共同主催でのイベント「日韓海岸清掃フェスタIN対馬」を開催し、海岸漂着物の発生抑制対策が図られました。</p>
	4. 今後の展開	<p>漂着ごみ対策は大規模な回収等により、一定の成果はあがっているものの、現状は漂着、回収の繰り返しであり、今後も継続的な漂着ごみの回収に取り組んでいかなければなりません。回収、処理経費の対応のため、今後も国、県による財政支援を要望していきます。</p> <p>また、漂着ごみ対策の根幹である発生抑制対策に向けた取り組みも必要であり、「日韓市民ビーチクリーンアップ事業」など、国際交流事業等を通じて今後も継続的に普及、啓発に取り組んでいきます。</p>

全体	No.25
個別	004-05

平成26年度 [市民生活部] 目標の成果

課名	美津島行政サービスセンター
----	---------------

No.	項目	窓口サービスの向上に努めます。
	1. 組織目標	
	<p>【内容】</p> <p>職員相互の情報の共有化を図り、各担当の業務内容の把握に努め、担当不在時の対応や複数来時の対応など、窓口サービスの向上に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的に会議開催を行うほか課内回覧などにより情報の共有化を推進します。 ・挨拶の励行と丁寧な対応を心掛け親しみのある窓口づくりを推進します。 ・窓口や電話での苦情、トラブルには、誠意をもって対応するとともに、その事例を参考に再発防止に努めます。 	
	2. 実績(成果)	
	<p>◎苦情件数「0」に向けた取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶の励行と丁寧な対応による接客マナーの徹底。 →→→丁寧な対応に努めました。 ・毎週1回のセンター内会議の開催。 →→→週1回実施しました。 ・回覧・周知における積極的な情報共有の促進。 →→→必要な周知事項はセンター内で全員に回覧周知しました。 ・各担当の業務・行事予定の把握。 →→→毎週明け、業務・行事予定の確認を行い職員への周知に努めました。 ・マナー研修等への積極的な参加 →→→職員研修等へ積極的に参加しました。 	
	3. 評価	○
	おおむね履行できて良好でした。	
	4. 今後の展開	
	窓口サービスの向上と苦情件数「0」に向けての取組を今後も推進していきます。	

全体	No. 2 6
個別	004-06

平成26年度 [市民生活部] 目標の成果

課 名	美津島行政サービスセンター
-----	---------------

No.	項 目	税の現年徴収税率の向上
	1. 組 織 目 標	
	<p>【 内 容 】</p> <p>サービスの維持のための各人のスキルアップと丁寧で親切な窓口対応に努める。催告等による納税相談の実施、誓約による自主納付の推進を図る。担税能力を有する場合は、速やかな納付を促し税の公平化に努力する。</p> <p>【 指 標 】</p> <p>平成26年度現年収納率 88.80%</p>	
	2. 実績(成果)	
	<p>平成26年度現年収納率 91.74%</p> <p>窓口での納税相談等により、適正な申告により滞納額圧縮が可能な滞納者に来庁いただき、還付申告等により滞納額を圧縮した。 また、申告相談においても可能な限り、よく内容を確認して適正な申告を行えるよう努め、相談を実施した。</p>	
	3. 評 価	◎
	<p>目標を上回る収納率達成となり、数年ぶりに現年収納率が90%を超えた。要因としては、給与、水揚げ等の差押えを推進したこと等が影響したものと考えられる。</p>	
	4. 今後の展開	
	<p>達成した収納率を向上、維持できるよう差押えは維持しつつも、納税相談、臨戸徴収等を推進する。</p>	

全体	No.27
個別	004-07

平成26年度 [市 民 生 活 部] 目標の成果

課 名	美津島行政サービスセンター
-----	---------------

No.	項 目	水道料金の収納率向上
	1. 組 織 目 標	
	<p>【 内 容 】</p> <p>水道料金の収納率向上に取り組み、新たな滞納額の縮減に努めます。 また、過年度分の滞納額徴収を積極的に取り組み、滞納額全体の縮減に努めます。</p> <p>【 指 標 】</p> <p>現年度分滞納額の縮減 (400万円以下*26年3月末558万円) 過年度分の滞納額徴収 (700万円以下*26年3月末862万円)</p>	
	2. 実 績 (成 果)	
	<p>現年度分滞納額 * 27年度末554万円 過年度分滞納額 * 27年度末823万円</p> <p>現年度分、過年度分とも減少額はわずかで昨年と変わらない結果となりました。</p>	
	3. 評 価	△
	<p>平成26年9月に催告書、12月に給水停止予告書を送付し、十数件に給水停止を実施しました。</p>	
	4. 今 後 の 展 開	
	<p>催告書、給水停止予告書の送付後、給水停止の取組強化を実施します。</p>	

全体	No. 2 8
個別	005-01

平成 2 6 年度 [福 祉 部] 目標の成果

課 名	福 祉 課
-----	-------

No.	項 目	対馬市障害福祉計画の策定
	1. 組 織 目 標	<p>【 内 容 】</p> <p>現在の第 3 期障害福祉計画「平成 2 4 年度～平成 2 6 年度」では、障害福祉の新たなサービス体系への移行の構築を目標に策定されており、第 4 期「平成 2 7 年度～平成 2 9 年度」においては、第 3 期を踏まえ、多様化する障害者のニーズに応じた計画相談支援により、適切なサービス提供を目標に計画を策定します。</p> <p>【 指 標 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第 3 期計画の実績調査及び検証 ・ 策定委員会の開催：2 回 ・ 計画の策定
	2. 実 績 (成 果)	<p>平成 2 7 年 3 月に対馬市障害福祉計画を策定し、障害者福祉の適正なサービス提供に着手しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 障害福祉サービスの課題・問題点や今後の要望等を中心にサービス提供者及び相談支援業者へ文書による照会調査を行いました。 ・ 対馬市地域自立支援協議会による審議会の開催：1 回 ・ 平成 2 7 年 3 月に対馬市障害福祉計画を策定
	3. 評 価	○
		<p>対馬市障害福祉計画を策定したことで、多様化する障害者のニーズに応じた適切なサービス提供ができる体制づくりが出来ました。</p>
	4. 今 後 の 展 開	<p>自立支援協議会において、本計画の推進上の問題点の協議及び毎年度の事業実績等を基に、障害福祉サービスの達成状況や地域生活支援事業等の実施状況の点検・評価を行い、本計画の円滑な運用を図ります。</p> <p>また、本計画の確実な推進を図るため、関係行政機関や社会福祉法人、市内外の様々な関係施設等が、それぞれの役割の担い、相互に協力しあえるよう、有機的な連携体制づくりを目指します。</p>

全体	No. 29
個別	005-02

平成26年度 [福 祉 部] 目標の成果

課 名	福 祉 課
-----	-------

No.	項 目	高齢者福祉及び障害者福祉サービスの充実
	1. 組 織 目 標	<p>【 内 容 】 高齢者が暮らしやすい環境整備と生活支援の推進及び障害者の必要に応じたサービスの提供に努めます。</p> <p>【 指 標 】 ・高齢者福祉サービス 高齢者生活支援事業として、食の自立支援助成（配食サービス）、生きがい活動支援助成（デイサービス）、軽度生活援助助成（ホームヘルパー）の充実を図り、在宅の高齢者が安心して自立した生活が送れるよう、関係機関と連携を密にし、孤独死0を目指します。 ・障害者福祉サービス 職員の障害者福祉に関する知識と意識を高め、障害のある人の個別のニーズに応じたサービス提供を図り、障害者が地域において自立した日常生活や社会生活を営まれるよう、関係機関と連携体制を確立し、住みよい地域づくりに努め、苦情0を目指します。</p>
	2. 実績（成果）	<p>・高齢者福祉サービス 関係機関と連携を密にし、平成26年度において、食の自立支援（配食サービス）延べ3,561回、生きがい活動支援（デイサービス）延べ210回、軽度生活援助（ホームヘルパー）延べ82時間の助成を行った。</p> <p>・障害者福祉サービス 複雑・多様化する障害者のニーズに対応するため、平成27年3月に第4期対馬市障害福祉計画を策定し、障害のある方が安心して生活を営むことができる支援体制づくりを図りました。</p>
	3. 評 価	○
		<p>高齢者福祉サービスについては、高齢者と直接対峙する機会を増やすことで安否確認を行い、高齢者の孤独死を未然に防ぐことに繋がっている。また、障害福祉サービスにおいては、職員の研修会等の参加により、知識と意識を高め、障害をお持ちの方が安心してサービスが受けられるよう、関係機関と連携を図り、スムーズな事務処理に心がけました。</p>
	4. 今後の展開	<p>高齢者及び障害のある方が安心して生活できる地域づくりを目指し、関係機関との連携を密にし、サービスの空白地をなくす支援体制の整備を図ってまいります。</p>

全体	No. 3 0
個別	005-03

平成 2 6 年 度 [福 祉 部] 目 標 の 成 果

課 名	こ ども 未 来 課
-----	------------

No.	項 目	子ども・子育て支援事業計画の策定
	1. 組 織 目 標	
	【 内 容 】	「子ども・子育て支援法」に基づいて、幼児期の学校教育や保育、地域の子育て支援の量の拡充や質の向上を進めていく「子ども・子育て支援新制度」の実施に向けて、そのニーズの見込み調査を行い、その結果に基づく5年間の需給計画を策定します。
	【 指 標 】	<ul style="list-style-type: none"> ○対馬市子ども・子育て支援会議を開催し、検討・審議を行います。 ○対馬市子ども・子育て支援会議作業部会を立ち上げ、計画策定について、細部における協議・検討を行います。 ○対馬市子ども・子育て支援事業計画の素案については、市民に公表し、意見公募を行います。 ○対馬市子ども・子育て支援事業計画書を策定します。
	2. 実 績 (成 果)	
		<ul style="list-style-type: none"> ○対馬市子ども・子育て支援会議 4 回開催 ○対馬市子ども・子育て支援会議作業部会 2 回開催 ○パブリックコメントの実施 ○対馬市子ども・子育て支援事業計画書作成
	3. 評 価	○
		4 回の対馬市子ども・子育て支援会議と2回の作業部会の開催により、組織目標であった『対馬市子ども・子育て支援事業計画書』を策定しました。
	4. 今 後 の 展 開	
		策定した『対馬市子ども・子育て支援事業計画書』に沿って、子どもの立場に配慮しながら、保護者・地域住民・事業者及び学校・施設等関係者と協働し、それぞれの役割を担うために必要な支援等の責務を果たします。

全体	No.3 1
個別	005-04

平成26年度 [福 社 部] 目標の成果

課 名	こども未来課
-----	--------

No.	項 目	保育料収納率の向上				
	1. 組 織 目 標					
	<p>【 内 容 】</p> <p>未納保育料及び滞納保育料については、納入催促通知書等の通知、臨戸徴収や納付相談を実施するとともに、各担当者との連携を図り、早めの徴収を念頭に収納率の向上を目指します。</p> <p>【 指 標 】</p> <table> <tr> <td>現年分収納率</td> <td>98.5%</td> </tr> <tr> <td>滞納分収納率</td> <td>58.0%</td> </tr> </table>	現年分収納率	98.5%	滞納分収納率	58.0%	
現年分収納率	98.5%					
滞納分収納率	58.0%					
	2. 実 績 (成 果)					
	<p>平成26年度収納率</p> <table> <tr> <td>現年分収納率</td> <td>96.5%</td> </tr> <tr> <td>滞納分収納率</td> <td>40.4%</td> </tr> </table>	現年分収納率	96.5%	滞納分収納率	40.4%	
現年分収納率	96.5%					
滞納分収納率	40.4%					
	3. 評 価	△				
	<p>平成26年度実施として、未納・滞納者へ催告通知書等を送付し、納入計画誓約書及び児童手当等を窓口徴収する等対応しました。現年分収納率においては平成25年度95.5%から平成26年度96.5%と上昇したものの、滞納分収納率においては平成25年度42.9%から平成26年度40.4%と低下した結果となりました。収納率回復に向けての体制強化を図ります。</p>					
	4. 今 後 の 展 開					
	<p>対馬市未収入保育料事務取扱内部規定の見直しを行い、未納保育料及び滞納保育料については納入催促通知書等の通知、臨戸徴収や納付相談（誓約）を確実に実施し、各センター保育所担当との連携を図りつつ、業務を遂行することによって収納率の向上を図ります。また、住居不明者等の不納欠損処理を行います。</p>					

全体	No.32
個別	006-01

平成26年度 [保 健 部] 目標の成果

課名	健康増進課
----	-------

No.	項目	健康つしま21計画の推進
	1. 組織目標	<p>【内容】 生涯を通じて元気に生きるための健康づくりの行動指針や推進方策を示す保健計画「健康つしま21」に基づき、効果的な活動を展開していきます。</p> <p>【指標】 ・歩いてつくる元気のおキャンペーンを継続して実施する。 ・計画に基づき、ウォーキングマップを作成する。 ・市内5か所のウォーキング大会を主催または共催等により実施し、市民の健康づくりに役立つ。参加者総数1200名を目標とする。 ・健康づくり等の情報をCATVや市報等で発信する。</p>
	2. 実績(成果)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 歩いてつくる元気のおキャンペーンを継続実施して、市民への健康づくりの啓発を行った。(ウォーキング参加者 1085名) ■ 計画に基づき、ウォーキングマップを作成した。 ■ 市内5か所のウォーキング大会を主催または共催等により実施した。参加者総数は1085名と目標の1200名には達しなかった。
	3. 評価	○
		<ul style="list-style-type: none"> ■ 歩いてつくる元気のおキャンペーンを継続実施を通して、市民への健康づくりの啓発を継続実施できた。 ■ 5か所のウォーキング大会で目標の参加者数には及ばなかったが、1085名と多くの市民の方に参加をいただくことができた。 ■ 健康つしま21推進員の協力により、ウォーキングマップを作成できた。
	4. 今後の展開	<p>今年度組織目標は達成できたが、引き続き、歩いてつくる元気のおキャンペーンやウォーキング大会は継続していく等、市民の健康づくり啓発に取り組んでいく。</p>

全体	No.33
個別	006-02

平成26年度 [保 健 部] 目標の成果

課 名	健 康 増 進 課
-----	-----------

No.	項 目	慢性腎臓病 (CKD) 対策
	1. 組 織 目 標	
	<p>【 内 容 】 慢性腎臓病 (CKD)の発症や進行は、糖尿病等を起因とする生活習慣病が強く関わっており、その改善や薬物療法等によって進行を抑えることが可能な疾患であるにも関わらず、その重要性が十分に理解されていません。日本では、成人人口の10.6%が慢性腎臓病 (CKD)と予測され、重症化した際の透析患者は医療費高騰の要因の一つです。そこで、対馬保健所等と協力して、平成25年度から3カ年計画で対策事業を実施します。</p> <p>【 指 標 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CKDについて理解を深める。 ・糖尿病受診勧奨レベル者に対するアプローチで、CKDリスク者を減少させる。(レベル者の減少及び治療中断者の防止) ・検討会・研修会に参加する。 ・CATVや広報等で普及啓発する。(年4回以上) 	
	2. 実 績 (成 果)	
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 専門職対象の地域診断研修会開催 検討会3回開催 (6/24、8/28、12/1) 研修会1回開催 (11/26) 報告会3回開催 (6/19、7/9、8/27) ■ 広報活動 特定保健指導対象者のうち76.9%の方には面接形式で、それ以外はCKD普及啓発資料を送付した。 市報2月号 (1.5ページ) に記事を掲載 CATV文字放送 6月、8月、10月、3月 ■ 糖尿病性腎症重症化予防事業を開始し、対象者に対して調剤薬局の薬剤師が生活指導等を実施した。 	
	3. 評 価	◎
	<p>3カ年計画の2年目にあたり計画したことは実施できた。今後のCKDの取り組みや他の保健事業にも影響するものと考える。 新たに、糖尿病性腎症重症化予防事業を実施した。</p>	
	4. 今 後 の 展 開	
	<p>対馬保健所と連携して3カ年計画に基づき実施していく。また、医療費抑制に向けた慢性腎臓病 (CKD) 対策事業の早期実施に向けて検討していく。 糖尿病性腎症重症化対策事業を26年度途中に開始したので、さらに推進していく。</p>	

全体	No.34
個別	006-03

平成26年度 [保 健 部] 目標の成果

課名	健康増進課
----	-------

No.	項 目	市民健診の受診率向上
	1. 組織目標	<p>【内容】</p> <p>平成20年度からスタートした特定健診も第1期を終了して7年目を迎えます。対馬市特定健診・保健指導プログラムに基づき、特定健診受診率の向上と保健指導の充実を図っていきます。</p> <p>・受診勧奨広報活動を強化して特定健診受診率40%、特定保健指導初回面接実施率65%を実現する。</p> <p>【指標】</p> <p>特定健診受診率40%を目標とする。 特定保健指導初回面接実施率65%を目標とする。</p>
	2. 実績(成果)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 特定健診受診率37.7%（推計）と目標値には達しなかった。 ■ 受診率向上推進員を5人雇用して、未受診者に対して、個別通知、電話勧奨、戸別訪問を実施した結果、新規受診者の獲得に成功した。 25年度未受診で26年度受診した人 948人（前年 1186人） ■ 特定保健指導は初回面接実施率 63.6%（前年68.8%）で目標には達しなかった。
	3. 評価	△
		<p>受診率は目標の40%に対して実績37.7%（推計）と下回る結果となったものの、前年度の受診率35.4%（推計）より確実に増加しており、健診推進員の活動が成果につながった。</p> <p>また、特定保健指導についても、初回面接実施率63.6%で、目標に達しなかった。</p>
	4. 今後の展開	<ul style="list-style-type: none"> ①健康つしま21事業等の健康づくり事業との連携 ②対馬市健診推進員の雇用（未受診者への電話と臨戸訪問） ③受診勧奨ハガキの郵送 ④事業所健診の国保被保険者データの取込み（継続） ⑤特定保健指導実施率の維持

全体	No.35
個別	007-01

平成26年度 [農 林 水 産 部] 目標の成果

課 名	農 林 ・ し い た け 課
-----	-----------------

No.	項 目	對馬椎茸“やる倍”ナバダス計画総合対策支援事業
	1. 組 織 目 標	<p>【 内 容 】</p> <p>『對馬椎茸“やる倍”ナバダス計画』に基づき、計画的にしいたけ振興策を図ります。</p> <p>①生産者のやる気を倍増 価格の安定化(しいたけ安定価格買取)</p> <p>②生産量を倍増 作業の効率化(生産団地・省力化機械器具導入、種駒補助制度)</p> <p>③系統(全農市場)外出荷量を倍増 分業化・安定供給(量、品質、納期)に向けたルールづくり</p> <p>【 指 標 】</p> <p>○大型生産団地導入支援 1団地 ○品質向上基盤施設導入支援(乾燥機リース) 3台 ○しいたけ生産推進 種駒補助2,000万個 原木補助30万本 ○新需要創出支援 物産展20回 調理方法開発・発信1式 ○しいたけ生産者後継者 3名 選別作業員 7名 ○生産量 乾80トン 生80トン</p>
	2. 実 績 (成 果)	<p>【 今 年 度 】</p> <p>○大型生産団地導入支援 1団地 ○品質向上基盤施設導入支援(乾燥機リース) 3台 ○しいたけ生産推進 種駒補助11,314,000個 原木補助281,344本 ○新需要創出支援 物産展40回 調理方法開発・発信1式 ○しいたけ生産者後継者 3名 選別作業員 8名 ○生産量 乾39.9トン 生110.8トン ○對馬しいたけ新規就農者施設整備支援 6名</p>
	3. 評 価	○
		<p>全国的に凶作の中で生産量、生産額ともに前年を下回ったものの、原発事故によるセシウム風評被害も収束を迎えつつある。品薄感から市場取引価格も上昇してきている。国の緊急雇用創出事業臨時特例基金事業を活用した担い手・後継者対策にも一定の成果を得た。全農乾椎茸品評会では對馬市の生産者としては、28年ぶりに花どんこ個人部では農林水産大臣賞に輝きました。</p>
	4. 今 後 の 展 開	<p>第3次しいたけ振興計画「對馬椎茸“やる倍”ナバダス計画」では、生産体制の充実を図ることはもとより、流通体制まで大きく踏み込んだ計画を策定しました。安全安心なしいたけの新規販路開拓・消費拡大に向けて、関係機関一丸となって取り組みます。</p>

全体	No.36
個別	007-02

平成26年度 [農 林 水 産 部] 目標の成果

課 名	農 林 ・ し い た け 課
-----	-----------------

No.	項 目	市有林整備の推進による循環型森林資源活用のためのオフセット・クレジット提案事業
	1. 組 織 目 標	
	<p>【 内 容 】</p> <p>国・県等の補助制度等の活用による間伐事業を現状の森林状況に沿った計画的な間伐を進めます。なお、J-VER制度については、平成24年度までにクレジット発行まで出来たことからクレジットの売買を加速させます。また、間伐材売払金及びクレジット売買収入金による基金を森林整備の財源として利用します。</p> <p>【 指 標 】</p> <p>【市有林整備】</p> <p>①森林整備面積：16ha（利用間伐）②路網整備：L=3,000m</p> <p>【 J - V E R 制 度 関 係 】</p> <p>①クレジット売買のための企業訪問やイベントへの参加（5回） ②クレジット販売：100t-CO2（収入金：800千円）③新規契約件数：3件</p> <p>【基金の活用】</p> <p>①ツシマヤマネコの森林づくり事業委託料（1,500千円） ②森林環境に配慮した森林整備補助金（2,500千円）</p>	
	2. 実 績 (成 果)	
	<p>【市有林整備】</p> <p>①施業実施面積：利用間伐 面積（8.8ha） 材積（358.5m³） ②路網整備：1,324m</p> <p>【 J - V E R 制 度 関 係 】</p> <p>①クレジット売買の為の企業訪問及びイベント参加：8回 ②クレジット販売：8件 119t-CO2（収入金：1,319,400円） ③新規契約件数：5件 ●クレジット残量：1,256t-CO2</p> <p>【基金の活用】</p> <p>①ツシマヤマネコと共生する地域森林管理行動計画策定業務 1,490,400円 委託業者：(株)愛植物設計事務所 モデル地区（舟志地区） 説明会2回 ②対馬市環境配慮型森林整備補助金交付要綱制定（平成27年2月1日） 補助金申請 0件</p>	
	3. 評 価	△
	<p>●間伐実施面積が8.8haと計画に満たず素材減産の結果、売り払い額が減収となりました。しかし素材の質がよく売り払い単価は、昨年度より2割高値となり、360万円を森・川・里・海環境保全再生基金に充当しました。</p> <p>●長崎がんばらんば国体・大会におけるカーボン・オフセットの実施など、大規模なイベントでのクレジット販売も行い、販売量も順調に増加している。</p> <p>●舟志地区をモデル地区として、ツシマヤマネコ等の生物との共生を目指した森林施業のあり方を検証していく事業を開始することが出来た。</p>	
	4. 今 後 の 展 開	
	<p>森林の有する諸機能を高度に発揮させるために、適正な森林施業を実施し、健全な森林資源の維持増進を図ります。また、J-VER関係においてはクレジット販売を強化するため、引き続き全国イベントへの参加や埼玉県制度への本格参画のため、埼玉県内の目標未達成事業所への売り込みを継続して行います。</p>	

全体	No.37
個別	007-03

平成26年度 [農 林 水 産 部] 目標の成果

課 名	農 林 ・ し い た け 課
-----	-----------------

No.	項 目	対馬猪鹿活用促進事業
	1. 組 織 目 標	
	【 内 容 】	<p>対馬猪鹿活用促進事業で、防護柵の位置情報、捕獲情報等の有害鳥獣対策の現状把握をさらに進め、要請があった地区には直接出向き、地域住民に情報をフィードバックしたい。ただし対策の主体は地域であり、行政は対策をサポートするため蓄積された情報を根拠に効果的な体制づくりのサポートに徹したい。(行政依存体質の脱却)</p> <p>被害対策を推進するための防護柵の整備については、新規柵の整備、既存柵の機能向上、居住区域内安全対策、家庭菜園等防護柵と、事業メニューが多く市民の理解度が低い事から、期間を定めて「イノシシ・シカに関する対策相談」等を個別に開催し、農業振興と被害対策についての正確な情報提供に努める。</p> <p>また、農林業従事者、有害鳥獣捕獲従事者、行政担当等でワークショップを開催し、農林業振興と有害鳥獣問題を横断的、多面的に話し合い問題解決に向けた意見の集約を実施する。さらには有害鳥獣対策に多くの市民が関わるためのきっかけに皮革製品や食肉加工品等、利活用の普及啓発活動を行う。</p>
	【 指 標 】	<p>①地域主導の被害対策推進地区増加数：5地区 ②地区捕獲隊増加数：5地区 ③「イノシシ・シカに関する対策相談」開催：12箇所 ※対馬振興局農業振興普及課による農業指導も同時開催計画中。 ※各町2箇所ずつ島内12箇所で開催。 ④ワークショップ開催：年4回 ⑤有害鳥獣利活用及び人材・担い手（対馬の子供達）育成 ⑥各種防護対策の実施</p>
	2. 実 績 (成 果)	<p>①地域主導の被害対策推進地区増加数：6地区 (居住区域内安全対策として防護柵を集落周辺に設置) ②地区捕獲隊増加数：1地区(上県町女連地区) ③「農業相談会及び防護柵要望受付」開催：13箇所 ※対馬振興局農業振興普及課による農業指導も同時開催。 ④ワークショップ開催：3回(対馬いとなみ協議会主催：1/17、2/1・21 約150名参加) ⑤厳原中学校1年性対象に有害鳥獣対策の授業実施(合計10時間) ⑥各種防護対策の実施(国交付金、市単独補助事業を活用) ⑦資源活用推進(衛生的な解体・加工実施、皮革を活用した普及啓発活動実施)</p>
	3. 評 価	○
		目標はほぼ達成できましたが、今後継続した取り組みが必要と感じています。
	4. 今 後 の 展 開	<p>今後は資源活用面を積極的に行い、肉や革が経済価値を生む事で、多くの市民を巻き込んだ有害鳥獣対策の推進と、新たな産業と雇用創出により、地域を護る事がお金になる仕組みを構築する事が望まれます。</p> <p>まずは、やる気ある地域を積極的にサポートし、地域住民に自信とやる気を持ってもらう必要があります。(小さな成功体験の積み重ね)</p>

全体	No.38
個別	007-04

平成26年度 [農 林 水 産 部] 目標の成果

課 名	農 林 ・ し い た け 課
-----	-----------------

No.	項 目	学校給食地場農林水産物導入事業																					
	1. 組 織 目 標	<p>【 内 容 】</p> <p>各学校給食調理場が納入した、地場産品（対馬産）について、月毎に1/2（対馬生まれのあか牛の場合は3/4）の助成を実施します。</p> <p>【 指 標 】</p> <p>学校給食に地場産品を使用する割合</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>主要4品目（馬鈴薯、人参、玉葱、きゅうり）：重量比</td> <td style="text-align: right;">30%</td> </tr> <tr> <td>ミニトマト</td> <td style="text-align: right;">80%</td> </tr> <tr> <td>アスパラガス</td> <td style="text-align: right;">80%</td> </tr> <tr> <td>さつまいも</td> <td style="text-align: right;">80%</td> </tr> <tr> <td>しいたけ</td> <td style="text-align: right;">100%</td> </tr> <tr> <td>米</td> <td style="text-align: right;">50%</td> </tr> </table>	主要4品目（馬鈴薯、人参、玉葱、きゅうり）：重量比	30%	ミニトマト	80%	アスパラガス	80%	さつまいも	80%	しいたけ	100%	米	50%									
主要4品目（馬鈴薯、人参、玉葱、きゅうり）：重量比	30%																						
ミニトマト	80%																						
アスパラガス	80%																						
さつまいも	80%																						
しいたけ	100%																						
米	50%																						
	2. 実 績（成 果）	<p>特産・推奨品である椎茸・あか牛・野菜及び水産物購入への支援を行いました。</p> <table style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: right;">H26</th> <th style="text-align: right;">H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主要4品目（馬鈴薯、人参、玉葱、きゅうり）：重量比</td> <td style="text-align: right;">22%</td> <td style="text-align: right;">28%</td> </tr> <tr> <td>ミニトマト</td> <td style="text-align: right;">55%</td> <td style="text-align: right;">83%</td> </tr> <tr> <td>アスパラガス</td> <td style="text-align: right;">55%</td> <td style="text-align: right;">52%</td> </tr> <tr> <td>さつまいも</td> <td style="text-align: right;">45%</td> <td style="text-align: right;">48%</td> </tr> <tr> <td>しいたけ</td> <td style="text-align: right;">96%</td> <td style="text-align: right;">99%</td> </tr> <tr> <td>米</td> <td style="text-align: right;">36%</td> <td style="text-align: right;">42%</td> </tr> </tbody> </table>		H26	H25	主要4品目（馬鈴薯、人参、玉葱、きゅうり）：重量比	22%	28%	ミニトマト	55%	83%	アスパラガス	55%	52%	さつまいも	45%	48%	しいたけ	96%	99%	米	36%	42%
	H26	H25																					
主要4品目（馬鈴薯、人参、玉葱、きゅうり）：重量比	22%	28%																					
ミニトマト	55%	83%																					
アスパラガス	55%	52%																					
さつまいも	45%	48%																					
しいたけ	96%	99%																					
米	36%	42%																					
	3. 評 価	△																					
		<p>対前年比において、アスパラガスはやや使用割合が上がったものの、その他全体的に使用割合が低下した。</p>																					
	4. 今 後 の 展 開	<p>受給システムの構築及び地産地消の推進を図り、目標達成に向け、取り組みます。</p>																					

全体	No.39
個別	007-05

平成26年度 [農 林 水 産 部] 目標の成果

課 名	水 産 課
-----	-------

No.	項 目	「海洋保護区の設定」
	1. 組 織 目 標	
		<p>【 内 容 】</p> <p>・水産資源の持続的利用と伝統的な漁業の継承を図るために「海洋保護区」の設定を目指します。設定推進協議会は、科学的根拠に基づく科学委員会の答申を検討し、区域の設定や区域内の資源管理計画を策定し、対馬版海洋保護区設定案を作成し、戦略会議により国や県などに働きかけて対馬らしい海洋保護区の設定を目指します。</p> <p>【 指 標 】</p> <p>①設定推進協議会・専門委員会・戦略会議・科学委員会の組織の見直しをします。 ②管理計画作成委員会・魚種漁法別分科会を設置します。 ③設定推進協議会2回、管理計画作成委員会1回、魚種漁法別分科会2回開催予定です。 ④CATVを活用した対馬市海洋保護区PR番組の制作と放送をします。 ⑤海洋保護区設定に関連する国内法、国際法の整理を行います。</p>
	2. 実 績 (成 果)	
		<p>①協議会の中に新たに資源管理計画作成委員会を設けることを決定しました。 ②魚種漁法毎に7部会を設置する事を協議会で了承を得ました。 ③設定推進協議会を2回開催しましたが、管理計画作成委員会、魚種漁法別分科会は開催に至りませんでした。 ④CATVを活用した海洋保護区PR番組を3本制作し放送しました。 ⑤関連する国内法、国際法を抽出いたしました。</p>
	3. 評 価	△
		<p>資源管理計画作成委員会及び魚種・漁法毎の7つの部会を設けることを決定しましたが、年度内に資源管理計画に関する本格的な議論を始めることはできませんでした。普及啓発のために、CATVを活用した番組制作放送の他、科学委員会報告書概要版、海洋保護区リーフレットの原稿を作成いたしました。</p>
	4. 今 後 の 展 開	
		<p>7部会での情報収集や意見交換を通して資源管理計画作成、海洋保護区設定を目指します。またCATV番組の制作、科学委員会報告書概要版やリーフレットの配布等を行い海洋保護区設定の必要性についてPRします。</p>

全体	No.40
個別	007-06

平成26年度 [農 林 水 産 部] 目標の成果

課 名	水 産 課
-----	-------

No.	項 目	「対馬食通祭の開催」
	1. 組 織 目 標	<p>【 内 容 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地産地消の拡大及び対馬産の需要度を高めるために対馬市産物消費拡大推進事業（対馬食通祭）を展開します。 <p>【 指 標 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○3ヶ月間のイベントを実施。期間中はオープニング、中間、エンディング、期間中の4つのイベントを開催します。
	2. 実 績 (成 果)	<p>1 島内でのイベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ① オープニングイベント 11月23日(日) 会場：厳原 参加のべ人数900人 ② 中間イベント 12月14日(日) 会場：上対馬 参加のべ人数200人 ③ 中間イベント 12月20日(土) 会場：厳原 参加のべ人数300人 ④ エンディングイベント 1月25日(日) 会場：美津島 参加のべ人数750人 ⑤ 期間中のイベント 11月9日(日)から1月25日(日) 参加のべ人数9,435人 期間中、島内47店舗で対馬の食材を使用した料理を食べた方(1,000円以上)にビンゴカードを配布。配布枚数9,435枚(ビンゴ大会を②～④のイベント時に併せて開催) <p>2 島外でのイベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ① RKBラジオまつり 10月18日～19日 会場：福岡市 参加のべ人数650人 ② よりあい処つしまでのイベント 11月22日 会場：福岡市 参加のべ人数100人 ③ NTT西日本対馬食材フェア 11月28日 会場：福岡市 参加のべ人数150人
	3. 評 価	○
		<p>延べ1万2千人の方に対馬の農水産物の魅力を広めることができ、消費拡大の促進と対馬産地名度の向上へと起因する事業を行うことができました。また、初年度事業の目的である提供する側と食べる側の双方ともに、改めて対馬産に対する認識を深めることができ、「メイドイン対馬」の情報発信を効果的に行えました。</p>
	4. 今 後 の 展 開	<p>対馬食通祭のイベントを通じ、生産者と提供する店舗が島内全の一つの行事として対馬の産物を一体となって売り込み、その姿、姿勢を島外にPRすることで、島の魅力を発信します。</p> <p>また、島内店舗の協力体制の強化及び旬な食材が島内店舗のどこでも食べることが出来る島内流通の確立など、地産地消を行う上で必要不可欠となる体制を整えるため、引き続き対馬食通祭を実施し、対馬産の浸透を図っていきます。</p>

全体	No.4 1
個別	007-07

平成26年度 [農 林 水 産 部] 目標の成果

課 名	水 産 課
-----	-------

No.	項 目	「漁礁設置」
	1. 組 織 目 標	
		<p>【 内 容 】</p> <p>・魚礁を地先漁業権内に設置し、漁業生産量の確保を図ります。近場の漁場を整備することにより漁業者の高齢化にも配慮した環境を整えることができます。</p> <p>【 指 標 】</p> <p>○魚礁13,500空^m（琴・芦見・田ノ浜・小綱1・2：7,500空^m 水崎1・2・阿連・高浜：6,000空^m）</p>
	2. 実 績 (成 果)	
		<p>○上対馬1工区（豊地先）203空^m ○佐須奈1工区（佐護地先）982空^m ○佐須奈2工区（佐護地先）316空^m ○上対馬東1工区（五根緒）1,561空^m ○上対馬東2工区（小鹿）1,570空^m ○田ノ浜工区（志多留）1,580空^m ○小綱1工区（小綱地先1,112空^m【製作のみ】）</p>
	3. 評 価	△
		<p>・平成25年度繰越事業分は実施しましたが、平成26年度事業については測量試験を実施できたのみでした。平成27年度は平成26年度繰越分を含め実施へと繋げていきます。</p>
	4. 今 後 の 展 開	
		<p>平成27年度は、平成26年度繰越事業分と平成27年度事業分を完了できるように取り組みます。</p>

全体	No.42
個別	007-08

平成26年度 [農 林 水 産 部] 目標の成果

課 名	水 産 課
-----	-------

No.	項 目	「水産物の輸送費補助」
	1. 組 織 目 標	<p>【 内 容 】</p> <p>・水産物を島外へ出荷する際の輸送コストに係る経費を財政的に支援することで、漁業者の所得安定及び減少に歯止めをかけ、漁業の発展へ繋がります。</p> <p>【 指 標 】</p> <p>○181万5千箱分に対して支援を行います。</p>
	2. 実 績 (成 果)	<p>○150万箱に対しての支援を実施しました。</p>
	3. 評 価	<p>△</p> <p>・水揚量の関係で目標181万5千箱分に対して150万箱分しか輸送できず、約7%分の減少となりましたが、漁業者の負担軽減に努めました。</p>
	4. 今 後 の 展 開	<p>平成27年度は、平成26年度分以上の実績を見込んでいます。</p>

全体	No.43
個別	007-09

平成26年度 [農 林 水 産 部] 目標の成果

課 名	基 盤 整 備 課
-----	-----------

No.	項 目	基盤整備工事の早期発注、早期完成
	1. 組 織 目 標	
	<p>【 内 容 】</p> <p>公共工事の早期発注、早期完成を図るため、12月末まで設計を完了します。</p> <p>【 指 標 】</p> <p>平成26年末完了予定額 100%目標 (1,572百万円)</p> <p>平成26年末完了予定件数 委託 14件 工事 22件</p>	
	2. 実 績 (成 果)	
	<p>平成26年末(12月)完了額 実績額 1,614百万円中、807百万円 50.0%</p> <p>平成26年末(12月)完了件数 実績件数 工事 41件中、27件 委託 19件中、5件</p> <p>漁港事業においては、新規着手工種が多数発生したことにより、設計業務及び協議に日数を要し進捗が大幅に遅れました。また、平成25年度末の国の補正予算により委託及び工事発注件数が増となり、3漁港において発注が遅れました。</p> <p>林道事業については、効率的な発注により目標を達成することができ、平成26年度末には、工事の進捗を図るため国の補正予算獲得に向けての取組を行いました。</p> <p>平成25年度 国の補正による額(漁港) 190百万円</p> <p>平成26年度 国の補正による額(林道) 48百万円</p>	
	3. 評 価	△
	<p>早期着工については、国の早着認可制度等を利用して行ったが、新規着手工種の許認可事務及び、測量、調査、設計等の委託業務や地元協議に時間を要した事により、本工事着手が遅れ目標100%達成が出来ませんでした。</p>	
	4. 今 後 の 展 開	
	<p>未着手分の早期着工及び新規工種の断面決定を行い、計画的に各種事務処理手続きを完了させ、工事の早期完成を目指します。</p> <p>また、地元要望に迅速に対応するため、関係者と連携を取りながら適切かつ有効な事業計画の立案に努めます。</p>	

全体	No.44
個別	008-01

平成26年度 [建設部] 目標の成果

課名	管理課
----	-----

No.	項目	市営住宅使用料の収納計画の策定と未収金縮小																		
	1. 組織目標																			
	<p>【内容】 収納計画を策定し、未収額の縮小に努めます。</p> <p>【指標】 市営住宅使用料の徴収率 現年分 98.80% 滞納分 43.94% 計 91.04%</p>																			
	2. 実績(成果)																			
	<p>市営住宅使用料の徴収率 現年分 95.33% 滞納分 21.87% 計 85.16%</p> <p>市営住宅使用料 (単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>現年分</th> <th>滞納分</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>調定額(現年・過年)</td> <td>137,837</td> <td>22,164</td> <td>160,001</td> </tr> <tr> <td>収入実績</td> <td>131,402</td> <td>4,847</td> <td>136,249</td> </tr> <tr> <td>徴収率</td> <td>95.33%</td> <td>21.87%</td> <td>85.16%</td> </tr> </tbody> </table>		現年分	滞納分	合計	調定額(現年・過年)	137,837	22,164	160,001	収入実績	131,402	4,847	136,249	徴収率	95.33%	21.87%	85.16%			
	現年分	滞納分	合計																	
調定額(現年・過年)	137,837	22,164	160,001																	
収入実績	131,402	4,847	136,249																	
徴収率	95.33%	21.87%	85.16%																	
	3. 評価	△																		
	<p>・滞納者に対し、文書による督促事務を行い、納付依頼を実施しました。 ・督促文書送付で未支払者に対し、訪問・文面による納付確約又は連帯保証人へ納付指導を行いました。</p> <p>以上の事務の徹底により目標数値を目指しましたが、長引く不景気や不漁等により納付約束の不履行が顕著となり、目標徴収率を下回りました。</p>																			
	4. 今後の展開																			
	<p>・引き続き、年間を通しての対面による納付依頼の強化し納付対策に取り組めます。</p>																			

全体	No.45
個別	008-02

平成26年度 [建設部] 目標の成果

課名	建設課
----	-----

No.	項目	公共工事の早期発注、早期完成に努めます。								
	1. 組織目標									
	【内容】	公共工事の早期着工に努めることにより、市の経済流通の初動を促進し、市民生活の活性化とともに、早期完成によって市民の生活基盤の底上げを図ります。								
	【指標】	平成26年度12月末設計書作成件数及び予定額（測量・調査・設計） 15件 160百万円 《100%目標》 平成26年度12月末設計書作成件数及び予定額（工事） 17件 1,227百万円 《100%目標》								
	2. 実績（成果）									
		<p>（測量・調査・設計）</p> <table> <tr> <td>平成26年度12月末設計書作成件数</td> <td>15件</td> </tr> <tr> <td>平成26年度12月末発注額</td> <td>68百万円</td> </tr> </table> <p>（工事）</p> <table> <tr> <td>平成26年度12月末設計書作成件数</td> <td>23件</td> </tr> <tr> <td>平成26年度12月末発注額</td> <td>781百万円</td> </tr> </table>	平成26年度12月末設計書作成件数	15件	平成26年度12月末発注額	68百万円	平成26年度12月末設計書作成件数	23件	平成26年度12月末発注額	781百万円
平成26年度12月末設計書作成件数	15件									
平成26年度12月末発注額	68百万円									
平成26年度12月末設計書作成件数	23件									
平成26年度12月末発注額	781百万円									
	3. 評価	○								
		組織目標に掲げた設計書作成件数については、目標以上の成果をあげることが出来た。また、発注額については、目標に対して実績が低くなっているが、これは、目標発注額が要望予算での設定であったためであり、内示予算額（委託：79百万円、工事：847百万円）に対してでは概ね達成している。目標が達成出来たことで、繰越事業費は前年に比べ減少した。								
	4. 今後の展開									
		公共工事の早期着工に努めることにより、市の経済流通の初動を促進し、市民生活の活性化とともに、早期完成によって、市民の生活基盤の底上げを図るものことから、今後におきましても早期発注、早期完成に努めます。								

全体	No.4 6
個別	009-01

平成26年度 [水道局 (部)] 目標の成果

課 名	水 道 課
-----	-------

No.	項 目	水道料金収納率の向上																								
	1. 組 織 目 標																									
	<p>【 内 容 】 水道料金の収納率向上に努めます。</p> <p>【 指 標 】 収納率（現年分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 対馬市水道事業 96.3% (前年度目標 96.2%) ・ 対馬市簡易水道事業 98.4% (前年度目標 98.3%) 																									
	2. 実 績 (成 果)																									
	<p>収納率</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;"></th> <th style="width: 30%;"></th> <th style="width: 20%; text-align: center;">前年度</th> <th style="width: 20%; text-align: center;">対前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">・ 対馬市水道事業</td> <td>現年分</td> <td style="text-align: center;">95.61%</td> <td style="text-align: center;">(95.87%) (△0.26%)</td> </tr> <tr> <td>過年分</td> <td style="text-align: center;">62.05%</td> <td style="text-align: center;">(52.69%) (9.36%)</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td style="text-align: center;">93.80%</td> <td style="text-align: center;">(93.57%) (0.23%)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・ 対馬市簡易水道事業</td> <td>現年分</td> <td style="text-align: center;">98.27%</td> <td style="text-align: center;">(97.98%) (0.29%)</td> </tr> <tr> <td>過年分</td> <td style="text-align: center;">31.64%</td> <td style="text-align: center;">(19.48%) (12.16%)</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td style="text-align: center;">94.95%</td> <td style="text-align: center;">(93.86%) (1.09%)</td> </tr> </tbody> </table>			前年度	対前年比	・ 対馬市水道事業	現年分	95.61%	(95.87%) (△0.26%)	過年分	62.05%	(52.69%) (9.36%)	計	93.80%	(93.57%) (0.23%)	・ 対馬市簡易水道事業	現年分	98.27%	(97.98%) (0.29%)	過年分	31.64%	(19.48%) (12.16%)	計	94.95%	(93.86%) (1.09%)	
		前年度	対前年比																							
・ 対馬市水道事業	現年分	95.61%	(95.87%) (△0.26%)																							
	過年分	62.05%	(52.69%) (9.36%)																							
	計	93.80%	(93.57%) (0.23%)																							
・ 対馬市簡易水道事業	現年分	98.27%	(97.98%) (0.29%)																							
	過年分	31.64%	(19.48%) (12.16%)																							
	計	94.95%	(93.86%) (1.09%)																							
	3. 評 価	△																								
	<p>滞納者に対し、督促及び催告書を発送し、また給水停止等の措置を講じましたが、水道事業については率にして0.69%目標に達することが出来ませんでした。また、簡易水道事業については、前年度より収納率はアップしたものの率にして0.13%目標に達することが出来ませんでした。</p> <p>納付催告、給水停止等を実施することにより、分納や完納がありましたが、その後新たな滞納が発生するといった状況で、目標数値には届きませんでした。</p>																									
	4. 今 後 の 展 開																									
	<p>過去の寒波災害の教訓を生かし、安定した水の供給を図りつつ、水道料金の収納率の向上に向け、滞納者に対し、給水停止の措置を強化し（3ヶ月以上の悪質滞納者を対象）、滞納＝給水停止という意識づけに努めます。</p>																									

全体	No.47
個別	010-01

平成26年度 [中 対 馬 振 興 部] 目標の成果

課 名	地 域 振 興 課
-----	-----------

No.	項 目	イベントと連携した体験型観光の推進
	1. 組 織 目 標	
	<p>【 内 容 】</p> <p>・豊玉町管内で開催されるイベント（シーカヤック大会）と連携した体験型観光を推進し、浅茅湾をはじめ和多都美神社などの観光資源の活用を促進します。</p> <p>【 指 標 】</p> <p>シーカヤック大会参加者数 100名</p>	
	2. 実 績 (成 果)	
	<p>平成26年度は8月10日にシーカヤック大会が開催される予定で、地域振興課としてもスタッフとして企画から準備、当日と地元商工会青年部をはじめ商工会員や地元で結成される実行委員会とともに参加しておりましたが、当日、台風接近のため大会が中止されました。</p> <p>申込に関しましては、応募数に関しては61名と目標に到達されていませんでした。</p>	
	3. 評 価	△
	<p>参加者数の目標は100名としており、実績(応募者数)は61名と大幅に届きませんでした。</p> <p>また、大会についても台風のため中止されてしまいました。</p>	
	4. 今 後 の 展 開	
	<p>地域としても、シーカヤックを通して親睦を深めるとともに、和多都美神社をはじめとした浅茅湾という観光資源をPRする大事なイベントと位置づけていることから、引き続き地域と連携していきたいと思えます。</p>	

全体	No.48
個別	010-02

平成26年度 [中 対 馬 振 興 部] 目標の成果

課 名	地 域 振 興 課
-----	-----------

No.	項 目	観光地の景観維持活動
	1. 組 織 目 標	<p>【 内 容 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 神話の里自然公園や烏帽子岳展望所等の景観維持活動を行います。 <p>【 指 標 】</p> <p>職員による園内の朽木伐採と景観維持活動を実施します。(年2回実施)</p>
	2. 実 績 (成 果)	<p>平成26年度においては、神話の里内の支障木等の除去を行いました。 また、観光バス等の往来が多い烏帽子岳展望所までの沿線において支障となる枝の除去を行いました。</p>
	3. 評 価	<p>○</p> <p>課内職員において、随時(6月～2月)必要と思われるときに判断して、作業を行った。</p>
	4. 今 後 の 展 開	<p>神話の里及び烏帽子岳展望所は、観光客も多く継続的な維持管理が必要と思われる。</p>

全体	No.49
個別	010-03

平成26年度 [中 対 馬 振 興 部] 目標の成果

課 名	住 民 生 活 課
-----	-----------

No.	項 目	窓口の適正な運営、環境整備
	1. 組 織 目 標	
	<p>【 内 容 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 窓口処理における市民の満足度の向上を図ります。 ・ 不法投棄防止の啓発に努めます。 <p>【 指 標 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 相談しやすい職場（窓口）環境づくり、苦情件数「ゼロ」 ・ 不法投棄箇所数の減 	
	2. 実 績（成果）	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民の満足度の向上を図るため、苦情件数「ゼロ」を掲げ、窓口対応に当たりました。26年度中における苦情等は見られなかった。 ・ 家庭ごみが投棄されている場所を確認し、現場の証拠品等により投棄者を特定することができた。その後、投棄者本人と協議し、片付けを行ってもらうことができた。 	
	3. 評 価	○
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 苦情件数「ゼロ」を達成することができた。今後も継続して達成できるように努めます。 ・ 適正処理について必要な改善指導を行うことができた。 	
	4. 今 後 の 展 開	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 窓口の親切・丁寧な対応、適正な事務処理に努めます。 ・ 不法投棄を未然に防ぎ、住民の方々の意識改革を図るため、看板設置等の啓発活動に努めます。 	

全体	No.50
個別	010-04

平成26年度 [中 対 馬 振 興 部] 目標の成果

課 名	住 民 生 活 課
-----	-----------

No.	項 目	税・水道料金の納付促進
	1. 組 織 目 標	
	<p>【 内 容 】</p> <p>①税の徴収率向上 ②水道料金徴収率の向上</p> <p>【 指 標 】</p> <p>・税の現年度分徴収率を95%以上に、滞納分徴収率を9.5%以上にします。 ・水道料金の現年分徴収率を99%以上に、未収金額100万円を80万円に減額します。</p>	
	2. 実 績 (成 果)	
		<p>①徴収率の向上に向け、電話や文書、また、各世帯を訪問し納税をお願いした結果、滞納分は目標を達成できたが、現年度分は達成できなかった。 (現年度分実績：93.78% 滞納分実績：10.55%)</p> <p>②徴収率向上に向け、未納者宅を訪問し、徴収に努め徴収率は25年度よりアップしたが、目標を達する事ができなかった。未収額は100万円を下回ることができた。(徴収率：25年度98.41% 26年度98.72% 未納額25年度1,094千円 26年度882千円)</p>
	3. 評 価	△
		掲げた目標の4項目中2項目しか達成できなかったが、全体的に徴収率は前年に比べ向上している。
	4. 今 後 の 展 開	
		今後も徴収率向上（特に現年分）に努め、未収金の減額を目指します。

全体	No.5 1
個別	010-05

平成26年度 [中 対 馬 振 興 部] 目標の成果

課 名	峰行政サービスセンター
-----	-------------

No.	項 目	窓口サービスの充実
	1. 組 織 目 標	
	<p>【 内 容 】</p> <p>来庁されるお客様がスムーズに用件を済まされるよう、利用しやすい窓口体制及びサービスの向上に努めます。 (笑顔であいさつ。迅速丁寧な対応。窓口の美化。)</p> <p>【 指 標 】</p> <p>お客様のご用件に対し、親切・迅速かつ丁寧な対応に心がけ、お客様に満足いただけるよう快適なサービス提供に努め、「苦情ゼロ」を目指します。お客様が気持ちよくお越しいただける様、庁舎及び窓口の美化に努めます。</p>	
	2. 実 績 (成 果)	
	<p>来庁されるお客様に満足いただける様、笑顔であいさつ、迅速丁寧な対応に心がけ「苦情ゼロ」のサービスを提供できました。</p>	
	3. 評 価	○
	<p>笑顔であいさつ、迅速丁寧な対応、窓口の美化に努め、「苦情ゼロ」を実現できました。</p>	
	4. 今 後 の 展 開	
	<p>今後も笑顔であいさつ、迅速丁寧な対応、窓口の美化に努め、お客様に満足いただける様快適なサービス環境を目指します。</p>	

全体	No.52
個別	011-01

平成26年度 [上 対 馬 振 興 部] 目標の成果

課 名	地 域 振 興 課
-----	-----------

No.	項 目	豊かな自然や伝統を活かした体験型・地域密着型観光の推進
2	1. 組 織 目 標	<p>【 内 容 】</p> <p>北部対馬の豊かな自然や伝統を活かした体験型・地域密着型観光を推進することにより、交流人口を増やし、産業を活性化させることで、地域の雇用拡大・消費拡大を図り、賑わいを取り戻すことを目指します。</p> <p>【 指 標 】</p> <p>○特産品流通販売施設において、何が売れるか、何が求められているかを調査するため、実証実験を実施</p> <p>○観光客の満足度を向上させるため、三宇田地域の整備方針決定</p>
	2. 実 績 (成 果)	
	3. 評 価	△
	4. 今 後 の 展 開	<p>○全体を通して売り上げは伸び悩んだが、イベント時には土産品を中心に売り上げが伸びました。また、122件のアンケート回収により消費者が求めるものの把握が出来ました。</p> <p>○三宇田地域の整備方針について、早急に関係機関との協議を進めていく必要があります。</p>
		<p>○今回の実証実験の結果及びアンケート結果を基に旅行者のニーズに合った商品開発に努めていきたい。</p> <p>○今後も継続して自然の景観を活かした三宇田地域の整備方針の協議を進めていきたい。</p>

全体	No.53
個別	011-02

平成26年度 [上 対 馬 振 興 部] 目標の成果

課 名	住 民 生 活 課
-----	-----------

No.	項 目	窓口サービスの適正・迅速化と電話対応の向上に努めます。
	1. 組 織 目 標	
	<p>【 内 容 】</p> <p>職員相互間の情報共有化を図り、市民ニーズに対し広い間口体制を構築し、主担当が不在でも市民ニーズに応えられる体制づくりと、窓口・電話対応の向上に努めます。</p> <p>【 指 標 】</p> <p>窓口・電話対応に対する苦情「ゼロ」を目指す。</p>	
	2. 実 績 (成 果)	
		窓口・電話対応においては、全職員が協力し迅速で親切・丁寧な対応を心がけた。
	3. 評 価	○
		朝礼やBEAMなどの活用により職員相互間の情報の共有化及び協力体制の構築を図ることができた。 また、窓口・電話対応の向上に努めたことにより、大きな苦情は寄せられなかった。
	4. 今 後 の 展 開	
		接遇においてベストはないと思う。なお一層の窓口・電話対応の向上に努めていきたい。

全体	No.54
個別	011-03

平成26年度 [上 対 馬 振 興 部] 目標の成果

課 名	北 部 建 設 事 務 所
-----	---------------

No.	項 目	公共工事の早期発注、早期完成												
	1. 組 織 目 標													
	<p>【 内 容 】</p> <p>公共工事の早期着工に努めることにより、市の経済流通の初動を促進し、市民生活の活性化とともに、早期完成によって市民の生活基盤の底上げを図ります。</p> <p>【 指 標 】</p> <p>平成26年度12月末設計書作成件数及び予定額（測量・調査・設計）</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>農林水産業費</td> <td style="text-align: center;">1件</td> <td style="text-align: right;">10百万円</td> </tr> <tr> <td>土木費</td> <td style="text-align: center;">5件</td> <td style="text-align: right;">26百万円</td> </tr> </table> <p>平成26年度12月末設計書作成件数及び予定額（工事）</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>農林水産業費</td> <td style="text-align: center;">6件</td> <td style="text-align: right;">504百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">9件</td> <td style="text-align: right;">1,064百万円</td> </tr> </table>	農林水産業費	1件	10百万円	土木費	5件	26百万円	農林水産業費	6件	504百万円		9件	1,064百万円	
農林水産業費	1件	10百万円												
土木費	5件	26百万円												
農林水産業費	6件	504百万円												
	9件	1,064百万円												
	2. 実 績 (成 果)													
	<p>(測量・調査・設計)</p> <p>平成26年度12月末設計書作成件数及び発注額</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>農林水産業費</td> <td style="text-align: center;">2件</td> <td style="text-align: right;">15百万円</td> </tr> <tr> <td>土木費</td> <td style="text-align: center;">13件</td> <td style="text-align: right;">70百万円</td> </tr> </table> <p>(工事)</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>農林水産業費</td> <td style="text-align: center;">13件</td> <td style="text-align: right;">632百万円</td> </tr> <tr> <td>土木費</td> <td style="text-align: center;">10件</td> <td style="text-align: right;">714百万円</td> </tr> </table>	農林水産業費	2件	15百万円	土木費	13件	70百万円	農林水産業費	13件	632百万円	土木費	10件	714百万円	
農林水産業費	2件	15百万円												
土木費	13件	70百万円												
農林水産業費	13件	632百万円												
土木費	10件	714百万円												
	3. 評 価	○												
	<p>組織目標に掲げた設計書作成件数については、交付金事業等の補正予算を含めて目標以上の成果を上げることができました。ただし、新規事業が多く、測量及び調査設計に日数を要して工事の発注が遅れ繰越事業が増加する結果となりました。調査設計の工期短縮への取り組みが課題です。</p>													
	4. 今 後 の 展 開													
	<p>公共工事の早期着工に努めることにより、市の経済流通の初動を促進し、市民生活の活性化とともに、早期完成によって、市民の生活基盤の底上げを図るものことから、今後におきましても早期発注、早期完成に努めます。</p>													

全体	No.55
個別	011-04

平成26年度 [上 対 馬 振 興 部] 目標の成果

課 名	上県行政サービスセンター
-----	--------------

No.	項 目	窓口及び電話対応の向上
	1. 組 織 目 標	<p>【 内 容 】 来庁者に対し親しみやすい挨拶と迅速な対応を図ります。また、電話照会者には相手の立場に立った、親しみやすく分かりやすい親切丁寧な対応の充実を図ります。</p> <p>【 指 標 】 窓口、電話対応に対する苦情件数「ゼロ」</p>
	2. 実 績 (成 果)	<p>上県行政サービスセンター全職員が、来庁者に対して親しみやすい挨拶と、お客様を待たせない接客を常に心がけました。 また、電話照会者に対しても、電話のたらいまわしなどなく、親切丁寧な対応に心がけました。</p>
	3. 評 価	○
		<p>窓口対応については、来庁者に対し親しみやすい挨拶とお客様を待たせない対応ができ、住民サービスにおける職員の資質向上、住民に親しみやすい組織づくりができたと思われます。 26年度は機構改革により職員数が減され、少人数で多岐にわたる業務をこなさなければ、住民サービスの低下につながります。常日頃から、業務遂行における職員の意識徹底を図っていきます。</p>
	4. 今 後 の 展 開	<p>窓口及び電話対応は、地方自治体にとって地域住民からのニーズに応える基本的なことであり、今後も引き続き、積極的な窓口サービスを展開し、住民のニーズに沿った窓口づくりを目指していきます。</p>

全体	No.56
個別	011-05

平成26年度 [上対馬振興部] 目標の成果

課名	上県行政サービスセンター
----	--------------

No.	項目	地域イベント・ボランティア活動への参加
	1. 組織目標	
	<p>【内容】 地元で開催される「あじさい祭り」、「パラグライディング対馬大会」、「対馬初午祭」などのイベント、その他清掃活動・福祉活動に対し、職員一丸となって、積極的にボランティア活動に参加します。</p> <p>【指標】 職員の参加率 50%を目標</p>	
	2. 実績(成果)	
	<p>地元開催の「あじさい祭り」、「パラグライディング対馬大会」、「対馬初午祭」、また、上対馬町で開催の「国境マラソンイン対馬」、「国境花火」等のイベントに多数の職員が積極的に参加しました。</p> <p>また、毎年地元で開催される、日韓ビーチクリーンアップ等のボランティア活動にも多数の職員が参加しました。</p>	
	3. 評価	○
	<p>職員が自発的に地域イベントやボランティア活動へ参加することで、地域住民との関わりの重要性を再認識することができました。</p>	
	4. 今後の展開	
	<p>今後も引き続き、地域イベントやボランティア活動に積極的に参加し、地域との関わりを深めて行きたいと思えます。</p>	

全体	No.57
個別	011-06

平成26年度 [上 対 馬 振 興 部] 目標の成果

課 名	上県行政サービスセンター
-----	--------------

No.	項 目	観光基盤の充実と体験型観光の推進
	1. 組 織 目 標	
	<p>【 内 容 】</p> <p>ツシマヤマネコと対州馬など対馬固有の地域資源を活用し交流人口の拡大を図る。</p> <p>【 指 標 】</p> <p>目保呂馬事公園の交流人口の拡大目標 5,000人</p>	
	2. 実 績 (成 果)	
	<p>目保呂馬事公園の交流人口の実績は、4,710人で目標を上回ることは出来なかったものの年々増加傾向にあります。</p>	
	3. 評 価	○
	<p>福岡、佐世保など島外でのイベントにも積極的に参加し、対州馬の乗馬体験やふれあいイベントなどを通じ、対州馬の魅力を島外の方がに発することができました。</p> <p>また、マスコミの認知度もより一層上がり、新聞テレビ等の媒体でのPRが恒常的にできるようになりました。</p>	
	4. 今 後 の 展 開	
	<p>対州馬の保存、活用については、「対州馬保存管理基本計画」による事業の取り組みを実施し、関係する機関や民間団体、地域ボランティアと連携しながら推進していきます。</p>	

全体	No. 5 8
個別	011-07

平成26年度 [上 対 馬 振 興 部] 目標の成果

課 名	上県行政サービスセンター
-----	--------------

No.	項 目	庁舎内外の清掃の徹底
	1. 組 織 目 標	
	<p>【 内 容 】</p> <p>①庁舎内の週一回の清掃、②毎月月初めの掃除の日にセンター敷地周辺の清掃及び除草、③ゴミや汚れを見つけた時の「即清掃」、④庁舎内から出るゴミの減量化及び分別 以上4項目の徹底</p> <p>【 指 標 】</p>	
	2. 実 績 (成 果)	
		<p>市の経費削減のため、職員一丸となって、庁舎内外の清掃活動に取り組み、来庁者に不快感を与えない職場環境が整備されました。</p> <p>また、庁舎内から出る、空き缶、ペットボトル、段ボール類は、資源ゴミとして分別を徹底し、資源のリサイクルに寄与することができました。</p>
	3. 評 価	○
		<p>庁舎内の週一回の清掃は、清掃分担表を割り振り、全職員が一丸となって取り組むことで、職場内の連帯が図られました。</p> <p>ゴミの減量化についても、ミспリント紙の裏紙としての利用や、封筒の再利用等で減量化が図られました。</p>
	4. 今 後 の 展 開	
		<p>清潔で明るい職場環境は、職員の日頃からの心がけでなり得るもので、今後も職員一人一人が身の回りの整理整頓に努め、来庁者に不快感を与えない庁舎環境づくりを図っていきます。</p>

全体	No.59
個別	012-01

平成26年度 [消 防 本 部] 目標の成果

課 名	総務課（消防団）
-----	----------

No.	項 目	地区消防団の統合及び車両の適正配置の推進
	1. 組 織 目 標	<p>【 内 容 】 消防団員の増員を図ります(若者、女性、公務員及び協力事業所への働きかけ)。 消防活動に支障を来す分団の隣接分団との統合を進め、地区消防団のブロック化を図ります。 地域に適応した分団、車両の適正配置を進め的確な消防活動体制を維持します。</p> <p>【 指 標 】 平成26年4月1日現在、分団数61分団を55分団に統合します。</p>
	2. 実 績 (成 果)	<p>団員減少の阻止と若者、女性、公務員等及び協力事業所表示制度の活用による入団促進に努めましたが減少の阻止には至りませんでした。(1,552人が1,521人に) 分団数は、61分団が56分団に統合が進み概ね目標値に達成できました。 【豊玉地区：12分団が10分団、峰地区：7分団が4分団、】</p> <p>※ 平成27年4月1日現在 巖原地区：11分団 美津島地区：10分団 豊玉・峰地区：上記のとおり 上県地区：9分団 上対馬地区：12分団</p>
	3. 評 価	○
		<p>団員数の減少阻止については、高齢者団員の退団や若年者の島外流出等により現 有を維持することが難しい状況であります。 今年度の目標でありました分団の統合計画については、各地区の実情を補完する 適正配備の体制が構築できたと思います。</p>
	4. 今 後 の 展 開	<p>分団統合については、本年度で適正配備の体制が構築できました。 今後は、車両の配置計画に着手していかなければなりません。核となる分団に は、ポンプ車又は普通積載自動車を配置。部となるところには軽積載自動車の配置 を考えています。 今後、更新計画に着手していきます。</p>

全体	No.60
個別	012-02

平成26年度 [消 防 本 部] 目標の成果

課 名	警 防 課
-----	-------

No.	項 目	応急手当の普及啓発活動																				
	1. 組 織 目 標																					
	【 内 容 】	<p>生命に関わる重大な不整脈が『突然死』の大きな原因と言われています。これを防ぐ唯一の方法が、AEDによる「除細動」です。昨年は、市民一人が「除細動」により社会復帰できた事案もありました。「自分の家族は自分で守る」を訴えていきます。AEDの使用方法について、受講者の増員を図ることが重要な課題であり、本年もCATV、市報等メディアを介して広報を実施します。併せて、毎週土曜日の来庁受講者対象及び各施設や事業所更に地域へ出向いて救急法の指導を行います。普通救命講習受講時間の負担を軽減するため、市のホームページにe-ラーニングを設け1時間の事前講習が修了できるシステムを導入します。</p> <p>【 指 標 】</p> <p>延べ人員2,500名に受講していただく。</p>																				
	2. 実 績 (成 果)																					
		1月～12月の統計																				
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">講習種別</th> <th colspan="2" style="width: 40%;">25年中</th> <th colspan="2" style="width: 40%;">26年中</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総受講者数</td> <td>89回</td> <td>1,723名</td> <td>115回</td> <td>2,050名</td> </tr> <tr> <td>普通救命講習</td> <td>35回</td> <td>530名</td> <td>34回</td> <td>274名</td> </tr> <tr> <td>救急法講習</td> <td>54回</td> <td>1,193名</td> <td>81回</td> <td>1,776名</td> </tr> </tbody> </table>	講習種別	25年中		26年中		総受講者数	89回	1,723名	115回	2,050名	普通救命講習	35回	530名	34回	274名	救急法講習	54回	1,193名	81回	1,776名
講習種別	25年中		26年中																			
総受講者数	89回	1,723名	115回	2,050名																		
普通救命講習	35回	530名	34回	274名																		
救急法講習	54回	1,193名	81回	1,776名																		
		<ul style="list-style-type: none"> ・市民がAEDを利用した救急事案（平成26年度） ◎市設置分 4件 ◎民間施設設置分 3件 （うち、適応有り 1件） ・救急隊搭載の半自動除細動器（AED）にて、社会復帰事案 1件 ・市のホームページに応急手当e-ラーニングを設け、1時間の事前講習が修了できるシステムを導入しました。 																				
	3. 評 価	△																				
		<p>AEDの設置場所の把握が徐々に市民に浸透して来ており、心肺停止患者発生時に利用されている状況です。</p> <p>CATVや市報を通して、AED使用方法の周知を図るとともに普通救命講習や救急法の指導を行い、前年比で300名強の増加はありましたが、目標受講者数を達し得ませんでした。</p>																				
	4. 今 後 の 展 開																					
		<p>24年度から3カ年計画で健康増進課が事業を進め、消防署から遠隔の地に168基のAEDを設置、官民合わせると設置総数は201基となっています。本年度も27基が消防署所より10分以上の遠隔地に設置されました。「突然死」を防ぐうえでAEDの使用効果は医学的に認められているところであります。</p> <p>今後とも事業所、学校等に受講機会を設けてもらうように進めます。</p>																				

全体	No.6 1
個別	012-03

平成26年度 [消 防 本 部] 目標の成果

課 名	予 防 課
-----	-------

No.	項 目	住宅用火災警報器設置促進及び屋外イベント会場等における火災予防の推進
	1. 組 織 目 標	
	<p>【 内 容 】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 住宅用火災警報器設置促進のため、建物（住宅）火災発生直後の設置指導及び火災予防運動や広報等を通して設置促進を図ります。 2 多数の者が集合する祭りや花火大会等の催し開催時に出店された露店への立入検査を実施し火災予防の推進を図ります。 <p>【 指 標 】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 住宅用火災警報器設置率低迷地区を重点的に指導することにより、全地区50%以上の設置を目指します。 2 市内15箇所で開催される祭りや花火大会等において、出店される露店（185店）の立入検査を実施し屋外イベント会場における消火器の準備、実施計画の指導等火災予防の推進を図ります。 	
	2. 実 績（成果）	
	<ol style="list-style-type: none"> 1 火災予防運動及び防火イベント時に住宅用火災警報器設置促進広報を実施。住宅用火災警報器設置率50%未満であった5地区が4地区に減少しました。 2 市内の17箇所で祭りや花火大会が開催され、露店は210店、火気を取り扱う露店等は、露店開設前の届出がされ、立入検査を実施しました。消火器の設置等を確認し、催し（イベント）の防火管理に取り組み、火災、事故の発生はありませんでした。 	
	3. 評 価	△
	<ol style="list-style-type: none"> 1 住宅用火災警報器設置促進は、目標指数を達し得ませんでした。低設置率地区には、防火教室、説明会を働きかけ地区主導の防火対策に取り組む必要があります。 2 露店の立入検査は、条例、規則及び消防本部の運用基準を基に実施し、火災の予防が図られました。 	
	4. 今 後 の 展 開	
	<p>住宅用火災警報器設置促進のため、住宅火災発生直後の設置指導、火災予防運動や広報を通して設置率の向上を目指すと共に、条例適合住宅の推進を図ります。また、「住宅防火いのちを守る7つのポイント」がプリントされた下敷きを500枚作成し、社会科見学等に来署する児童等に配付して、火災予防の啓発と防火思想の向上を図ります。</p>	

全体	No.6 2
個別	013-01

平成26年度 [教育委員会事務局] 目標の成果

課 名	総 務 課
-----	-------

No.	項 目	教育施設の充実・整備、有効活用を推進します。
1	1. 組 織 目 標	
	【 内 容 】	平成23年2月4日に示された対馬市立学校適正規模、適正配置等検討委員会の答申を受け策定した、対馬市立学校及び幼稚園統合推進計画に基づき、保護者説明会及び住民説明会を実施し、学校及び地域住民の理解のもと学校統廃合を進めます。
	【 指 標 】	・統合校 1校
	2. 実 績 (成 果)	保護者説明会及び地区住民説明会を実施し、対馬市立塩浦小学校を対馬市立豊玉小学校に統合することについて各地区の合意を得て、平成27年4月1日に統合しました。
3. 評 価	○	
		関係地区の合意を得て、計画どおり1校の統廃合を実施いたしました。
4. 今 後 の 展 開		
		対馬市立学校及び幼稚園統合計画をもとに、保護者及び地区住民の意向を十分尊重しながら学校統廃合を推進します。併せて子どもたちが安全で安心に学校生活を送れるように施設の環境整備を進めていきます。

全体	No.6 3
個別	013-02

平成26年度 [教育委員会事務局] 目標の成果

課名	学校教育課
----	-------

No.	項目	確かな学力・豊かな心を育む教育活動の推進
2	1. 組織目標	<p>【内容】</p> <p>【一人一人を大切にした教育活動の推進】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教育内容の充実と指導力の向上 2. 特別支援教育の充実 3. 不登校児童生徒対策の充実・推進 <p>【指標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. (1) 学校訪問をのべ17校実施 (2) 学校図書館支援員を小学校22校、中学校11校に配置 (3) 中学校基礎学力向上研究推進事業の実施 (4) 対馬市独自の研究指定校制度の実施（9校1園で研究） (5) つしまテレビ学習塾（5月～3月計40回：CATV） (6) 学習支援員を小学校3校、中学校2校に配置 2. 特別支援教育関係の研修会開催や連携体制づくり 3. 不登校対策に係る関係研修会の開催と連携体制づくり
	2. 実績（成果）	<ol style="list-style-type: none"> 1. (1) 学校訪問を計画的に実施し、校長の学校経営力の向上と、教職員指導力の向上を図りました。 (2) 学校図書館支援員を配置することにより、多様な読書活動を企画・実施したり、図書館サービスの改善を図った。 (3) 教科等指導法改善研修会を中学校社会・数学、小学校国語科で実施し、効果的な指導について研修ができたものと考えます。 (4) 9校（園）の幼稚園・小中学校に研究委託し、指導を行うとともに3校で研究発表会（中間1校・本発表2校）を行いました。 (5) 昨年度までに作成した放送番組を対馬市CATVで年間40本放送しました。また、放送内容に関するテキスト教材を作成し、新小4と新中1の児童生徒に配布しました。 (6) 学習支援員を配置することにより、支援を必要とする児童生徒への学習補助を行い、指導の徹底を図ることができました。 2. 各種研修会を実施するとともに、関係機関との連携を図ることができました。 3. 担当者研修2回実施。スクールカウンセラーや相談員を年間通して派遣することができました。毎月実施している実態調査をもとに、各校での取組を強化し、不登校数の増加を防ぐことができました。
	3. 評価	○
		<p>指標（数値目標）としてあげていた項目については、計画通りに実施するとともに内容の充実も図ることができました。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 確かな学力の定着に向けて、教職員の指導力の向上をはかるため、教科指導法改善研修会等の各種研修会を実施し、成果を上げることができました。 (2) 特別支援教育を充実させるため、各種研修会と連携した会議実施や関係機関との連携を図るとともに、介助員を有効に活用することができました。 (3) 目標にあげた各事業については着実に実施でき、不登校者数の増加を防ぐことができました。
	4. 今後の展開	<p>今後とも各種研修会や学校訪問、研究指定校事業などを計画的に実施し、児童生徒の確かな学力の定着を図るために努力します。また、26年度の学力調査の結果を分析し、新たに対策を考えます。特別支援教育の更なる充実のために虹の原特別支援学校高等部対馬分教室との連携を図ります。また、27年度も不登校児童・生徒の減少に向けて取り組みの強化を図ります。</p>

全体	No.6 4
個別	013-03

平成26年度 [教育委員会事務局] 目標の成果

課名	生涯学習課
----	-------

No.	項目	スポーツ施設の充実とスポーツの振興
3	1. 組織目標	<p>【内容】</p> <p>○長崎国体に伴うデモスポ行事として本市で行うパワーリフティング大会において、島内における競技の認知度を高め、振興発展を助長するとともに、次年度以降公開競技として開催されるため、本市からの国体選手輩出を目指します。</p> <p>【指標】</p> <p>○パワーリフティング大会 競技参加者50名 来場者150名（島内100名・島外50名）</p>
	2. 実績(成果)	<p>○島内外から27名の出場選手及び参観者を含めて、会場内は350名で埋め尽くし盛大に開催されました。</p> <p>○デモスポ競技の実施に伴い、長崎がんばらんば国体対馬市実行委員会の熱心な企画・運営により厳原港まつりにあわせた採火式では、市内小中高生25名の参加による炬火リレーで競技大会の主旨をPRできました。</p> <p>○島内外からの競技参加選手、参観者等に対し、おもてなし事業による郷土料理の振る舞いなど、競技会場の盛り上がりの後押ししたことでデモスポ競技の認知度向上に好影響を与えました。</p> <p>○CATVでの大会放映は、競技のPRに大いに役立ちました。</p>
	3. 評価	○
	4. 今後の展開	<p>○大会会場を提供していただいた対馬高等学校との綿密な連携が保たれ、貴校の出場選手への多くの来場応援が好成績につながり、また、会場設営、片付けに体育部員の支援を得るなど、パワーリフティング競技が多くの衆目に触れ認知度向上につながったと思われます。</p> <p>○スポーツ推進員や体育協会会員など指導者や各競技団体にも、パワーリフティング競技について理解が深まり、競技発展に寄与すると思われます。</p>

全体	No.6 5
個別	013-04

平成26年度 [教育委員会事務局] 目標の成果

課 名	文 化 財 課
-----	---------

No.	項 目	指定文化財の保護・活用を図ります。
4	1. 組 織 目 標	<p>【 内 容 】</p> <p>①指定文化財の保存整備 ②文化財に係る防犯対策と情報発信 ③遺跡の確認調査</p> <p>【 指 標 】</p> <p>①史跡の保存整備（5カ所） ②文化財に係る防犯対策の強化と情報発信の実施（文化財保護ネットワーク関係者会議開催2回、広報紙による情報発信12回、文化財・景観写真コンテスト実施…応募目標100点） ③市内遺跡発掘調査（2箇所）</p>
	2. 実 績（成果）	<p>①ほぼ計画どおり、保存整備工事を実施しました。 ②市報に「わがまち再発見」記事を毎月掲載し、文化財に関する情報を発信しました。また、文化財保護ネットワーク会議を1回開催しました。文化財・景観写真コンテストは計画通り実施しましたが、応募点数は78点でした。 史跡整備の状況を周知するため、矢立山古墳群において現地説明会を開催し、市民の他地元小・中学生も参加して頂きました。 ③2箇所の遺跡確認調査を予定していましたが、1箇所のみの実施になりました。</p>
	3. 評 価	△
	<p>①各史跡の保存整備計画に従い、ほぼ計画どおり事業を実施出来ましたが、一部事業について年度を繰り越すことになりました。 ②文化財に対する情報発信を継続することで市民の意識を高めることが出来た他、文化財・景観写真コンテストの実施と合わせ、一層文化財に対する普及啓発が図られました。しかしながら、写真コンテストの応募目標には達しませんでした。 ③仏像等盗難事件等、予期せぬ業務の発生により、遺跡調査を2箇所計画していたものの、1箇所のみ調査となりました。</p>	
4. 今 後 の 展 開	<p>①史跡整備については、今後も保存整備計画に従い整備を続け、有効活用につなげていきます。また、新たな史跡整備にも取り組みます。 ②文化財の普及活動・情報発信については、市報で引き続き関係する記事を掲載していくことに併わせ、写真コンテストやその他様々な機会を通じて、情報発信、文化財保護に対する啓発を図っていきます。 ③昨年度実施できなかった遺跡調査を実施する他、大学と連携して新たな遺跡の調査に取り組みます。</p>	